



会津漆の魅力展



あいづまちなかアートプロジェクト 2023
会津・漆の芸術祭×まちなかピナコテカ

記録集

会津 ヒトとマチとの アート展



もくじ

はじめに	02
会津・漆の芸術祭	
会津 漆の魅力展	03
出品作品一覧	34
来場者アンケート結果	35
大戸町南原地内における特用林ウルシ樹育成事業	41
まちなかピナコテカ	
会津 ヒトとマチとのアート展	43
出品作品一覧	77
来場者アンケート結果	82
開催概要	87
展示会場一覧	88
開催ワークショップ・イベント一覧	88

あいづまちなか アートプロジェクト2023

2023年9月29日(金)～11月3日(金)

会場：会津若松市文化センター
会津若松市歴史資料センターまなべこ
福島県立博物館
市内協力施設など

五感で楽しむ!

漆の未来「これから」をみんなで考えよう

会津漆の魅力展

会津・漆の芸術祭

今年度は、歴史資料センターまなべこや福島県立博物館をはじめ、市内各所で漆をテーマとした様々なイベントやワークショップを開催しました。見る・聞く・触れるなど、五感を使って「漆の魅力」を知っていただき、漆をより身近に感じていただく機会の創出を目指しています。



はじめに

あいづまちなかアートプロジェクトは2013年にスタートしました。まちなかの歴史的建造物や公共施設などを展示会場に、会津の文化資源である“漆”をテーマとした「会津・漆の芸術祭」と、会津ゆかりの作家の作品などを紹介する「まちなかピナコテカ（絵画展）」の2つの展覧会を同時開催し、気軽に文化芸術に触れていただく機会づくりを行ってきました。

それから10年を経て、地域を取り巻く社会環境が大きく変化し、近年の来場者アンケートなどから地域の方々が文化芸術活動に求めることも大きく変わってきました。特に、文化芸術活動を未来に引き継いでいくために、取組に参画する“人材の育成”や、地元の若手作家や伝統工芸などの“地域資源”の活用といった、地域とともに未来を創造していく取組が求められています。

このような変化を受けて、あいづまちなかアートプロジェクト2023では、さらに充実した有意義な取組となるよう、「アートに触れる機会の創出」、「ひとづくり」、「地域資源の活用」を柱に取組の幅を広げ、アートをきっかけとした人と人との交流を通して、地域全体で育む様々な文化芸術活動を展開しました。

文化が持つ多様性、創造性、相互理解の考え方を活かしながら、本プロジェクトが地元の人々誰もが主役となれる多様な機会となり、地域の魅力を活かし文化芸術の素晴らしさを発信することで、こころ豊かに暮らし続けることができる地域社会となることを願います。

会津 漆の魅力展 常設展

期間 10月13日(金)
～11月3日(金)
午前9時～午後5時

場所 会津若松市歴史資料
センターまなべこ
企画展示室

皆さんは、漆について、どのくらいご存知ですか？
会津地域にとって漆は、歴史的にも文化的にも非常に大きな役割を担ってきました。また、現在でも様々な関係者や団体が、振興・継承・挑戦のための取り組みを行っています。
こうした文化の灯を後世に伝えていくためには、より多くの方と交流の輪を広げていく必要があります。
「会津 漆の魅力展」の、漆をテーマとした様々な展示を通じ、奥深い漆の世界を知り、その未来や可能性に思いを巡らせていただければ幸いです。

会津と漆の歴史年表



▲会津塗板かるた



▲会津塗桐下駄

▼会津漆器 野点茶道具



▼金地會津絵大盃(右)



会場の様子



▲漆液や漆樹の実・葉などの現物を展示

▲「うるし」への理解が深まるクイズを出題

▶会津吉祥十五組盃(左)





▲会場エントランス



会津ゆかりの漆の作り手の作品を展示



▲ワークショップスペース



▲歴史資料センターまなべこ(外観)



参加者からの声

- 実際に学校等で行われている取り組みを見ることができたり、歴史的なことについても学ぶことができ、漆についての知識を深めることができました。
- 刷毛職人さんや漆を採取する道具を作る職人さんが、すごくすごく少ないことに危機感を持ちました。若い人に興味を持ってほしいです。
- 漆器販売業務に従事しております。お客様に商品説明する際の知識として大変勉強になりました。

まなべこ歴史文化講座「会津と漆の歴史」

開催日 10月21日(土)
午後1時30分～2時
午後2時30分～3時
場 所 会津若松市歴史資料
センターまなべこ
企画展示室

会津 漆の魅力展 常設展の開催に併せ、専門の職員が企画展示の内容などを解説する講座を実施しました。会津地域で実際に出土した漆関連の遺物などから、往時の生活を想像するだけでなく、漆が古くから人々の生活に根差したものであることを改めて実感できる時間となりました。



縄文時代から江戸時代の漆にまつわる様々な出土品について紹介しました



●会津若松市教育委員会 文化課 角田祥子

会津は昔から漆と関わりが深い地域なので、漆を使用した製品は発掘調査時の出土品にもよく見られるのですが、展示する資料を選んでみると、日用品としての漆器だけでなく、今回展示した^{こしがら}濾殻のような漆器生産地ならではの資料や、兜の前立てなどの特殊な資料があることに改めて気づかされました。

今回は現代の漆工品なども併せて展示したため、歴史分野だけでなく漆器の生産や美術分野に興味のある方々にも出土品に触れていただける良い機会となったと感じています。

今後も漆に関する歴史資料は蓄積されていくと考えられますので、また機会がありましたら、より会津の漆文化の特徴が理解できるような展示をしていきたいです。

ぐい呑み漆塗り(摺り漆)体験

開催日 10月15日(日)
午前10時～午後1時
午後2時～5時

場 所 生涯学習総合センター
美術工芸スタジオ

協 力 会津漆器協同組合青年部

漆を使って制作したぐい呑みは、素朴な風合いを残しながらも、丈夫さ、抗菌作用が付与されるため、長くお使いいただけたと思います。
当日は市外の方も多く参加され、皆様から、「自分で作ったものだから愛着を感じる」「大切にしていきたい」などのお声を頂戴し、ご盛況いただきました。



▲ぐい呑みの木地



漆を摺り込む▶



制作の様子



▲塗膜が均一となるように
丁寧に漆を塗っていきます



●会津漆器協同組合青年部 加藤史郎

今回は、ワークショップとしてぐい呑み漆塗り体験を開催しました。

木製のぐい呑み木地を研磨して漆を摺り込んで拭き取る摺り漆という塗装技法です。素朴な木の模様と漆の優しい手触りを楽しめる仕上がりになるので、参加者の皆さんに漆と木のうつわの魅力を肌で感じて頂くことができました。

体験中に青年部会員の作品を見て頂いたり、仕事の内容や経験談を聞いて頂くことで、より漆や漆器に興味や関心を深めて頂けたと思います。

漆の扱い(かぶれ、温度湿度の管理など)が難しいためどうしても体験して頂ける人数に限りがあるのが今後の課題だと思います。

今後もこういったワークショップを開催することで会津漆器の歴史や文化をより知って頂けたらと考えています。

螺鈿のブローチ作り体験

開催日 10月22日(日)
午後2時～4時

場 所 会津若松市歴史資料
センターまなべこ
企画展示室

協 力 会津工芸新生会

漆は、塗りの質感もさることながら、塗ったものの強度を高めることができるほか、接着剤としても優秀なため、薄く削った貝（螺鈿）などを定着させ、華やかな細工を施すことができるのも魅力の一つです。
参加された皆様は、思い思いのデザインで、世界に一つだけの作品を完成させていました。



体験で使った鮑貝▲

制作の様子



◀螺鈿どしは重ならないよう
気をつけて貼り付けます

完成直後の作品▼



●会津工芸新生会 大竹信一

螺鈿とは鮑や夜光貝など、貝を使った飾りのことを言います。
今回は、漆を塗った直径4センチの円い板に、細かく割った鮑貝を漆でモザイク状に貼ってもらう体験です。

貝を貼ってもらった板には黒い漆を塗り込み、研いで磨いて約一月後に体験した皆さんへお渡しすることができました。
モザイク状に貼るだけなのですが面白いほど個性が出ます。

今回参加してもらった10人の皆さんも、隙間なくきれいに貼る人、ダイナミックに貼る人、時間が足りなくて泣く泣く貼らない部分を作った人などなど。

集中するので作業中は無言ですが、お陰様でどれもこれも素敵なアクセサリーになりました。



漆ロウを利用したボタニカルキャンドルづくりの実演

開催日 10月28日(土)
午前10時～11時

場 所 会津若松市歴史資料
センターまなべこ
企画展示室

協 力 会津農林高等学校

うるしの木は、樹液である『漆』を使って漆器をつくることはもちろんのこと、木につける実の部分からロウを抽出し、蠟燭を生産することもできたため、「会津漆器」や「会津絵ろうそく」の隆盛はまさに、うるしによって支えられてきたと言えます。

今回の実演では、往時の製法・技術を現代版にアレンジしてボタニカルキャンドルを制作しました。



▲漆の実を蒸すことでロウを抽出しやすくします



▲特製の油圧ジャッキで蒸した実を絞ります



▲ドライフラワーを入れて華やかに



漆ロウ入りのキャンドル(左)はやや緑色に▲



実演の様子

●福島県立会津農林高等学校 森林環境科教諭 須藤聖一

8年ほど前、NPO法人はるなか漆部会の会員として、あいづまちなかアートプロジェクトに参加させていただきましたが、再び事業への参画依頼があり非常にうれしく思います。まなべこでの常設展において紹介いただいた本校の取組の中で、ウルシの実からロウを採取する際の成功と失敗がありました。この失敗が大切です。

仕事でもスポーツでも継続した目標達成には次の3つの段階があると考えています。第1段階は基礎基本と仕組みを正しく理解し、繰り返し練習すること、第2段階は自ら問題を見つけ技術を探求(研究)すること、第3段階は人に伝えること、継承することです。

また、取組が持続していく中で仲間が増えていくと多くのチャンスがあり、他の団体や異業種との交流、新しいビジネスが生まれる可能性が出てきます。

文化、技術、継承は今最も大切な時期であり、今回のプロジェクトの果たす役割は限りなく大きいと思います。このたび参加を提供していただいた会津若松市教育委員会、実行委員の皆様へ深く感謝申し上げますと共に会津漆器組合その他関係の皆様のご発展をお祈りいたします。

漆の豆皿づくりワークショップ

開催日 10月28日(土)
午後1時30分～3時30分
場 所 会津若松市歴史資料センター
まなべこ 企画展示室
講 師 八木由紀子さん、
清水聡一郎さん

手のひらサイズの木地に漆を塗り、自分好みのデザインに切り取った和紙で模様をつけたら、豆皿を制作しました。

木と漆の温もりや質感を感じつつ、様々な工程を体験できるワークショップとなりました。

制作の様子



▲好きな形にカットした和紙を慎重に木地へ貼り付けます



完成直後の作品▲

●蒔絵師 八木由紀子

漆の体験というと蒔絵に関連したものが多くありますが、今回のイベントの主題に沿うような、とにかく漆の魅力を知って欲しい!と思う内容にしました。

豆皿の木地のヤスリ掛けから始めて、本漆を塗り、小麦粉を合わせた糊漆を使い、和紙で模様をつけていく。

工程を踏むことにより、木の質感と、生きた塗料と言われる漆の特性と、接着剤の役割を知ることができます。

乾燥に時間が掛かり、また漆を何層にもかけてから完成となりますので、数日後にお渡し。と、どうしてもお待たせしてしまいますが。

完成した豆皿は、しっとりと水分を含んだ漆の手触りと、木の温もりに、手のひらの中でしばらく愛でていたくなるのではないかと思います。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

いつかまたお会いできた時にでも、体験したご感想と触れた心地をお伺いしてみたいものです。

会津漆器と郷土料理の魅力を知る教室

開催日 11月3日(金)
午前11時～午後1時

場所 はら笑楽交

協力 会津塗技術保存会
はら笑楽交プロジェクト
実行委員会

湊町の郷土料理をお好みの漆器に盛り付け、その取り合わせの魅力を味わいました。

イベントを通して「漆器は和食にしか使えないイメージだったが、今後は様々なシチュエーションで使ってみたい」「豆腐もちのレシピを教えてもらい、今度家でも作ってみたい」など、大変嬉しいお声を多数いただきました。

地域の伝統料理と会津の漆文化、両方の魅力が調和した素敵な体験教室となりました。



多くの個人・団体にご協力いただき
様々な種類の漆器が揃いました



▲漆器の手入れについても説明がありました



はら笑楽交(外観)▲



▲湊町伝統料理「豆腐もち」



漆器と料理、双方の
魅力が引き立ちました



●会津塗技術保存会 渡部佳澄

会津塗技術保存会では、漆器とともに地域に根差す文化を再認識できるような場をつくりたいと考え、湊町の「はら笑楽交」さんにもご協力いただき、漆器と郷土料理の体験イベントを開催しました。

漆器や郷土料理にまつわるお話と、料理の試作・試食をする中で、参加者の皆さんが楽しむだけでなく、漆器の作り手や漆に関わる担い手、料理を提供してくださったカフェスタッフの方々が、改めて自分たちの仕事の価値や魅力を再発見する機会にもなったようです。

漆のオープンスタジオ

開催日 10月17～22日、24～27日、29日、31日～11月2日（14日間）
午前10時～正午、午後1時～3時

場 所 福島県立博物館
雪国ものづくり広場「なんだべや」

出演者 佐藤淳さん、八木由紀子さん、
二瓶由布子さん、清水聡一郎さん

普段はあまり目にする機会が少ない漆器づくりの工程を、誰でも気軽に見ていただけるように、会津ゆかりの漆の作り手4名が交代で公開制作を行いました。

会津の漆の技を間近で感じられるだけでなく、作り手と直接お話しができる特別な空間は、ご来場の皆様から大変ご好評をいただきました。



●福島県立博物館 学芸員 小林めぐみ

福島県立博物館の「雪国ものづくり広場 なんだべや」は会津のものづくりを体感できるフリースペース。会津木綿で覆われた棚があり、ニシン鉢を模した本郷焼の洗面鉢があり、ベビーケアルームには編み組のオーナメントが下がっています。しかしそこにもものづくりの人がいることでこんなにも風景が変わるものかと驚きました。初の試み「漆のオープンスタジオ」では漆の作り手が「なんだべや」を工房代りに滞在制作を行いました。ものづくりに取り組む人が醸し出す緊張感。何かが生み出される作業の高揚感。学校の行事で訪れた小学生が息を詰めて眺めていたのはそれらを感じたからだと思います。長時間おられる大人の方もいて漆について気軽にプロに尋ねられるのが魅力のようでした。漆器産地と言え職人と接する機会を持つ人は会津若松でも限られます。作り手に会い、話し、その姿を見られる場があることから真にそのものづくりへの理解が広がるように思えました。ともにチャレンジしてくださった4人に心から感謝申し上げます。

●蒔絵紋師 佐藤 淳

公共の場での実演は初めてでしたが、参加出来た事は良かったと感じています。実感としては足を運んで下さる方の少なさ、同時に興味を持って頂くためにはどうしたら良いのかなど、考えながらの実演でした。

来られた方の中には興味を持たれて質問される方もおりましたが少数でした。

今回の実演では、傍らに自分の作品を置いて見てもらいましたが、その他にも工程見本、漆、蒔絵に関する説明文なども用意出来たら良かったと思いました。

また、実演を見るだけではなく、体験も出来るような場所になればまた違った反響も期待できるのかな、とも思いました。

会津漆器全体の生産量はこれからも減少傾向になる事は間違いなく、携わる職人とその技術が失われて行く事が懸念されます。

その無くなって行く技術、技法が今後は希少な物となる事を多くの方に知って頂く事も漆器に目を向けて貰える一つの手段ではないかと考えます。



●清水聡一郎

この度、「あいづまちなかアートプロジェクト」の一環で、福島県立博物館にて「漆のオープンスタジオ」に参加し、漆芸作品の実演を行いました。

博物館内にある「なんだべや」での作業中には、博物館に来場されたお客様が実演をご覧になられて、漆という素材の説明や会津漆器の特徴、技法についてお話しさせていただく機会もありました。

私が行っていた「鉄錆塗り」の技法もそうですが、会津で育った方でも「会津漆器」そのものをあまりご存知ではない方もいらっしゃいました。

こういったイベントを通じて、漆や漆器への興味・関心を向けてもらえる機会というのは、とても貴重なため、これからも継続して認知度を高められたらと感じました。

参加者からの声

- 漆の作家さんたちのお話を聞くことができて楽しかったです。
- お二人が違ったことをされていて、見るのも面白かったですし、話しかけやすかったです。うるしが少し身近に感じました。
- 来年も漆のオープンスタジオを開催してほしい。

会津 漆の魅力展×「つきない」コラボデザート

期間 10月13日(金)
～11月3日(金)
午前9時30分
～午後4時30分

場所 福島県立博物館
雪国ものづくり食堂
「つきない」

会津 漆の魅力展の会期に合わせ、雪国ものづくり食堂「つきない」に特別なデザートメニュー（酒粕パウンドケーキ）を考案いただき、漆のオープンスタジオに参加した八木さんと二瓶さんが作った器とともにご提供しました。



作り手の表現を感じながら
酒処会津の美味しいデザートを



八木さんと二瓶さんの漆の「つきない」トーク

開催日 10月22日(日)
午後3時30分～4時30分

場 所 福島県立博物館
雪国ものづくり食堂
「つきない」

出演者 八木由紀子さん、
二瓶由布子さん

聞き手 福島県立博物館 学芸員
小林めぐみさん

協 力 福島県立博物館

蒔絵師の八木さん、二瓶さんを招き、漆のつきない魅力をお聞きしました。
お二人から、作品づくりに対する思いやご自身の漆器の解説、現在取り組まれているプロジェクトについてなど、非常に興味深いお話をいただき、参加された方々からも多くの質問が寄せられました。



●蒔絵師 二瓶由布子

今回のあいづまちなかアートプロジェクトでは、主に漆のオープンスタジオとトークイベントに関わらせていただきました。

個人的に、漆器を実際に使って試すことができるイベントをしてみたいなと以前から考えていたので、今回のトークイベントの内容はとても魅力的で大変うれしいお声がけでした。

漆器を使用してデザートをお楽しみいただき、漆器の良さを体感的にお伝えできたかと思います。また、普段なかなか自分の考えを外に向かって発信する機会がないので、制作の動機や漆についてお客様に直接お伝えすることができ、よい機会となりました。

当日は、私のSNSをご覧いただいていたお客様が、わざわざ関西からお越しいただいたことにも驚き、感謝の気持ちでいっぱいになりました。また引き続きコツコツ制作に励んでまいります。

この度は素敵な機会を頂きありがとうございました。

漆樹の植栽地見学と掻き取り体験

開催日 9月5日(火)
場 所 一箕町金堀地内
参加者 会津大学短期大学部
連 携 会津若松市農林課

漆芸を学ぶ地域の学生を対象として、市が所有する漆林の見学と漆液採取作業の体験を行いました。会津漆器の原点である漆が、長い時間をかけて生成される自然の恵みであることや一滴一滴手間をかけて掻き取ることなどを、実際の作業を通じて感じていただけたと思います。

前回掻き取った場所の上下に一本ずつ傷を付けていきました



体験の様子



カンナで傷を付けヘラで採取します



漆職人の村上修一さんから掻き取りのコツ等について説明いただきました▲



漆の出前講座

開催日／場所

9月6日(水) 大戸中学校、
10月12日(木) 行仁小学校、
10月26日(木) 東山小学校、
10月27日(金) 大戸小学校

協力 会津大学短期大学部
(地域活性化センター)

市内の小中学校において、会津ならではの伝統工芸品である「漆器」および、その原料となる「うるし」についての講座を実施しました。

次世代を担う子どもたちに、うるしとは何か、また、漆や会津漆器の歴史などについて分かりやすくお話いただき、地域文化に関する理解を深めていただきました。

講座の様子

漆液の採取方法を実際の漆樹で解説▼



▲漆器づくりに欠かせない筆や刷毛を実際に触ってみました

素晴らしい作品の数々をお持ちいただきました▼



●会津大学短期大学部 産業情報学科教授 井波 純

毎年実施されている小中学校に向けた漆の出前講座を本年も担当させていただきました。小学校3年生から中学生まで、年代にあった形で資料を整え、クイズなどを取り入れて漆について理解を深められる楽しい講義になったと思います。日本の漆文化の歴史の長さや、400年以上も続く会津漆器の歴史とともに会津若松市が日本を代表する漆器産地の一つであるということに皆さん驚かれますが、終了後の感想では会津の漆文化にこれからも触れていきたい気持ちが込められておりうれしく思いました。また、漆の植栽や採取を短大生と共に行いましたが、初めての作業に戸惑いながらも少しずつにじみ出る漆に触れる事で漆の大切さを知る良い機会であったと思います。

まなべこツアー

開催日／参加校

10月17日(火) 門田小学校、
10月19日(木) 大戸小学校、
10月27日(金) 小金井小学校①・
神指小学校
10月31日(火) 永和小学校、
11月1日(水) 小金井小学校②

場所 会津若松市歴史資料センター
まなべこ 企画展示室

あいづっこ人材育成プロジェクト事業の一環として、市内の小学6年生がまなべこを訪れ、会津 漆の魅力展 常設展を見学しました。会津の伝統技法で制作された漆工品などを興味深く鑑賞したり、うるしのクイズに積極的に参加してくれていました。

鑑賞の様子



▲漆に関する様々な展示について説明を行いました



漆樹の植樹体験

開催日／参加校

11月13日(月)

大戸小学校、大戸中学校、
会津大学短期大学部

11月17日(金)

会津農林高等学校

場所 大戸町上三寄南原地内

連携 会津若松市農林課

平成29年度より、毎年漆樹の植栽を実施している大戸町において、大戸地区の小中学生をはじめとする子どもたちを対象として、植樹体験を実施しました。

会津若松市内においても漆樹の植樹や保全に関する取組が行われていることを、小学生から大学生までの幅広い年代に伝えることができました。

体験の様子



約15年後、会津産の漆液を採れる日が楽しみです



掘った穴に肥料を入れ
幹が真っ直ぐの状態で
埋め戻します



活動の様子



まなべこ歴史文化講座「会津と漆の歴史」



ぐい呑み漆塗り(摺り漆)体験



会津漆器と郷土料理の
魅力を知る教室



漆樹の植樹体験



螺鈿のブローチ作り体験



漆口ウを利用したポタニカルキャンドルづくりの実演



まなべこツアー



八木さんと二瓶さんの漆の「つきない」トーク



漆の出前講座



漆樹の植栽地見学と掻き取り体験

会津 漆の魅力展 出品作品一覧

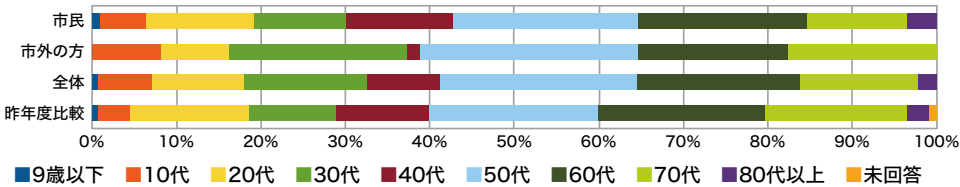
No.	氏名	作品名	所属	展示名
1	会津漆器協同組合青年部	会津漆器 野点茶道具一式	会津漆器協同組合青年部	会津 漆の魅力展 常設展
2	会津漆器協同組合青年部	金地會津絵大盃	会津漆器協同組合青年部	会津 漆の魅力展 常設展
3	会津漆器協同組合青年部	會津吉祥十五組盃	会津漆器協同組合青年部	会津 漆の魅力展 常設展
4	会津漆器協同組合青年部	会津塗板かるた	会津漆器協同組合青年部	会津 漆の魅力展 常設展
5	塗 : 大森弘 蒔絵 : 佐藤直樹	会津型梅紋様小町下駄	会津塗技術保存会	会津 漆の魅力展 常設展
6	蒔絵 : 照井克弘	桜文様木地蒔絵駒下駄	会津塗技術保存会	会津 漆の魅力展 常設展
7	蒔絵 : 小松茂夫 神郁江	梅文様鉄錆千両下駄	会津塗技術保存会	会津 漆の魅力展 常設展
8	塗 : 大森弘 蒔絵 : 大竹信一	唐子漆絵千両下駄	会津塗技術保存会	会津 漆の魅力展 常設展
9	蒔絵 : 小松茂夫	秋草消蒔絵千両下駄	会津塗技術保存会	会津 漆の魅力展 常設展
10	塗 : 大森弘	花塗駒下駄	会津塗技術保存会	会津 漆の魅力展 常設展
11	佐藤淳	四寸五分盃 菊線紋ちらし	個人	会津 漆の魅力展 常設展
12	佐藤淳	四寸五分盃 徳川葵紋	個人	会津 漆の魅力展 常設展
13	八木由紀子	月の穂	個人	会津 漆の魅力展 常設展
14	二瓶由布子	ボタニカル文様豆皿(二種)	個人	会津 漆の魅力展 常設展
15	二瓶由布子	鳥と草花のフリーカップ	個人	会津 漆の魅力展 常設展
16	清水聡一郎	肋骨	個人	会津 漆の魅力展 常設展
17	清水聡一郎	包容	個人	会津 漆の魅力展 常設展

会津 漆の魅力展 来場者アンケート結果

会 期 : 令和5年10月13日(金)~11月3日(金)19日間
場 所 : 歴史資料センターまなべこ、福島県立博物館、ワークショップの実施会場等
調査対象者 : 712人(常設展の一般来場者および各種特別企画への参加者のみ)
回 答 数 : 172枚(回収率24.1%)

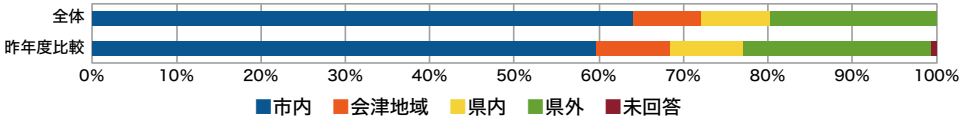
1. 年齢

	%	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
市民	0.9	5.5	12.7	10.9	12.7	21.8	20.0	11.8	3.6	0	100	
市外の方	0.0	8.1	8.1	21.0	1.6	25.8	17.7	17.7	0.0	0	100	
全体	0.6	6.4	11.0	14.5	8.7	23.3	19.2	14.0	2.3	0	100	
昨年度比較	0.7	3.7	14.1	10.4	11.0	20.0	19.8	16.8	2.7	0.9	100	



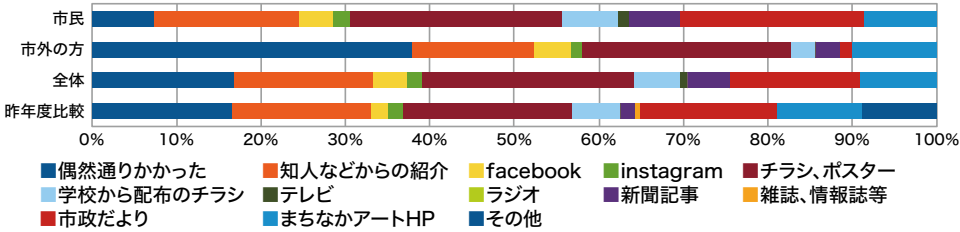
2. 出発地

	%	市内	会津地域	県内	県外	未回答	合計
全体	64.0	8.1	8.1	19.8	0.0		100
昨年度比較	59.7	8.7	8.7	22.3	0.7		100



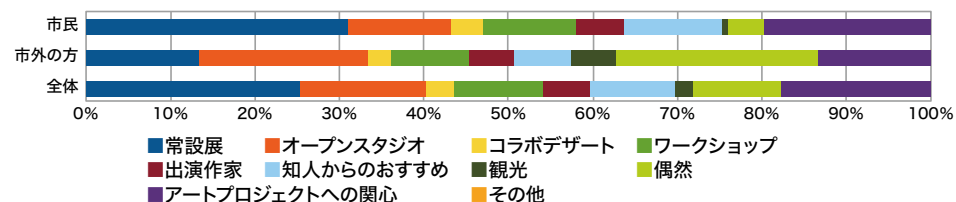
3. 知ったきっかけ(複数回答)

	%	偶然通り かかった	知人など からの 紹介	face book	insta gram	チラシ、 ポスター	学校から 配布の チラシ	テレビ	ラジオ	新聞記事	雑誌、 情報誌等	市政 だより	まちなか アートHP	その他	合計
市民	7.3	17.2	4.0	2.0	25.2	6.6	1.3	0.0	6.0	0.0	21.9	8.6	0.0	100	
市外の方	37.7	14.5	4.3	1.4	24.6	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	10.1	0.0	100	
全体	16.8	16.4	4.1	1.8	25.0	5.5	0.9	0.0	5.0	0.0	15.5	9.1	0.0	100	
昨年度比較	16.5	16.5	2.1	1.7	20.0	5.8	0.0	0.0	1.7	0.6	16.2	10.1	8.9	100	



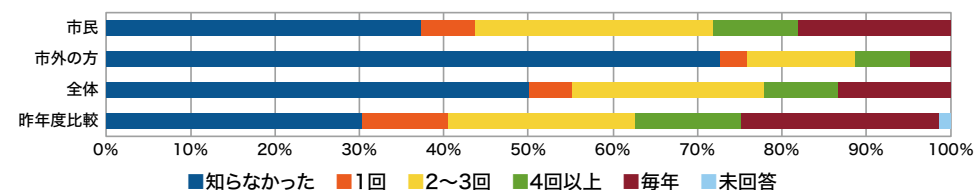
4. 来場のきっかけ(複数回答)

%	常設展	オープ スタジオ	コラボ デザート	ワーク ショップ	出演作家	知人 からの おすすめ	観光	偶然	アートプロ ジェクト への関心	その他	合計
市民	30.9	12.3	3.7	11.1	5.6	11.7	0.6	4.3	19.8	0.0	100
市外の方	13.3	20.0	2.7	9.3	5.3	6.7	5.3	24.0	13.3	0.0	100
全体	25.3	14.8	3.4	10.5	5.5	10.1	2.1	10.5	17.7	0.0	100



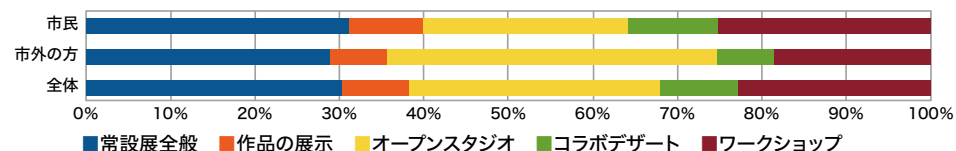
5. これまでの、あいづまちなかアートプロジェクトへの参加経験

%	知らなかった	1回	2〜3回	4回以上	毎年	未回答	合計
市民	37.3	6.4	28.2	10.0	18.2	0.0	100
市外の方	72.6	3.2	12.9	6.5	4.8	0.0	100
全体	50.0	5.2	22.7	8.7	13.4	0.0	100
昨年度比較	30.2	10.2	22.1	12.5	23.5	1.4	100



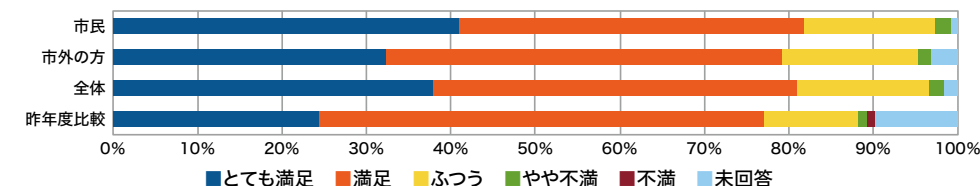
6. 特に印象に残った企画(複数回答)

%	常設展 全般	作品の 展示	オープ ンスタジオ	コラボ デザート	ワーク ショップ	合計
市民	31.1	8.7	24.3	10.7	25.2	100
市外の方	28.8	6.8	39.0	6.8	18.6	100
全体	30.2	8.0	29.6	9.3	22.8	100



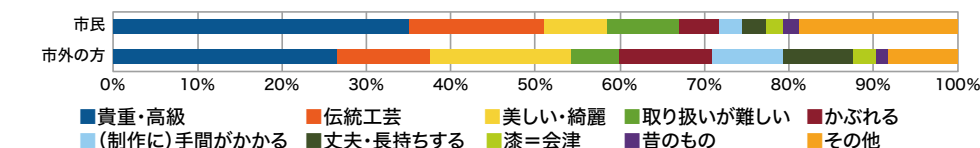
7. 参加したイベントの満足度

%	とても満足	満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	合計
市民	40.9	40.9	15.5	1.8	0.0	0.9	100
市外の方	32.3	46.8	16.1	1.6	0.0	3.2	100
全体	37.8	43.0	15.7	1.7	0.0	1.7	100
昨年度比較	24.4	52.7	11.1	1.1	0.9	9.9	100



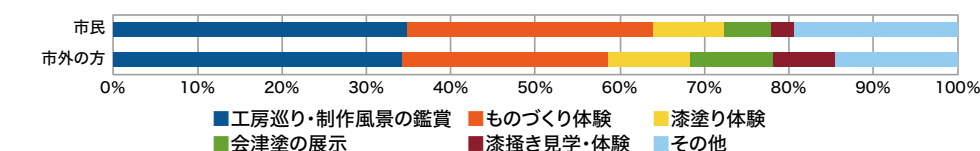
8. 漆に対するイメージ(複数回答)

%	貴重・高 級	伝統工 芸	美しい・ 綺麗	取り扱いが 難しい	かぶれる	(制作に) 手間が かかる	丈夫・ 長持ちする	漆=会津	昔のもの	その他	合計
市民	34.9	16.0	7.5	8.5	4.7	2.8	2.8	1.9	1.9	18.9	100
市外の方	26.4	11.1	16.7	5.6	11.1	8.3	8.3	2.8	1.4	8.3	100



9. 今後、漆関連の取組で参加したい・やってみたいこと

%	工房巡り・ 制作風景 の鑑賞	ものづくり 体験	漆塗り 体験	会津塗 の展示	漆掻き 見学・体験	その他	合計
市民	34.7	29.2	8.3	5.6	2.8	19.4	100
市外の方	34.1	24.4	9.8	9.8	7.3	14.6	100



【その他意見の例】

- 漆の植栽
- 漆について学ぶ講座
- 漆の歴史や使い方について学ぶ講座
- 漆の現代アート（前衛的な作家の作品）が見たい
- 漆と絵具を併用した作品が見たい
- 金継ぎの体験

会津 漆の魅力展に関するご意見・ご要望（自由記載欄）

- とても綺麗でした。
- うるしクイズが面白かった。会津ゆかりの作り手の作品が興味深かった。光沢のあるものばかりというイメージだったが、そうではないものもある事を知った。
- とても綺麗で、また、普段知ることができないことばかりで勉強になった。
- 市が農業高校と関わりながら取り組んでいることは良いと思った。
- （漆は）赤や黒のイメージだったので色に驚いた。
- 会津かるたの展示がとても良かった。
- 板かるたと水筒の漆塗りがカッコよかった！
- 会津人の誇りを知れた。
- 幼い時に会津にいたので懐かしかった。当時は漆器店が多かった。
- 漆に関する理解が深まりました。
- 古いものというイメージでしたが、今に合わせたデザインもあり素敵でした。
- あ！と驚くばかりで、無知さを思い知らされた。
- 漆器販売業務に従事しております。お客様に商品説明する際の知識として大変勉強になりました。漆器という素晴らしい伝統技術を是非後世に伝えていきたいです。
- 会津塗りがとても好きなので、展示会があればよく見学しています。
- 漆の作家さんたちのお話を聞くことができて楽しかったです。また機会があれば色々な作家さんの話が聞きたいです。
- 素晴らしい企画をありがとうございます。ぜひ定期的に開催していただければ幸いです。
- エコな食器であることを知ることができた。日常生活でももっと使いたいと思いました。
- かわいらしい絵柄があること、日常にも馴染みやすいこと、改めて知りました。
- 時間が合えばワークショップにも参加したかった。
- 今回の展示会のように漆の魅力に触れることができる機会を定期的に開催していただければ幸いです。漆の作り手の作品が常時展示されるギャラリー等の施設が市内にあれば嬉しいですね。
- 長く続けてください。楽しみにしています。年間を通してのワークショップもあるといいかも。
- 多くの人に身近になるよう続けてください。
- 会津の伝統と守っていく方々へリスベクト!!
- 長く続けてほしいです。
- パネルで詳細に説明いただいたり、ビデオで漆の取り方が示されていて分かりやすかったです。
- 二瓶由布子さんの作品が現代的で楽しかった。漆の新しい可能性を感じました。
- 抗菌作用があるということを今回初めて知りました。
- 漆の作り手からお話が聞けて良かった。
- 漆ウウのろうそくづくり、初めて見ることができました。ありがとうございます。
- 義理の父が木地師でしたので木の香

- を思い出して懐かしく思いました。会津の大事なものです。携わる皆様ありがとうございます。
- 白木屋さんにはたまに立ち寄っています。
- 漆ができるまでにたくさんの年月とたくさんの人が関わっていることを知りました。刷毛職人さんや漆を採取する道具を作る職人さんが、すごくすごく少ないことに危機感を持ちました。若い人に興味を持ってほしいです。
- （漆器を）実際に作っている方のお話を直接聞けてすごく良かったです。
- 漆の意外な性質を知ってびっくりしました。いつまでも残って欲しい工芸品だと思います。
- とても素晴らしい。
- 今後も継続して、多くの方に知っていただきたいです。
- 作家さんとお話ができてとても良かったです。お二人が違ったことをされていて、見るのも面白かったですし、話しかけやすかったです。うるしが少し身近に感じました。ワークショップに参加してみたいと思いました。ありがとうございました。
- 百人一首の金文字が素晴らしい。
- 後世に残してほしい。
- 会津塗に興味を持ち、家庭で使いたいと思いました。ありがとうございます。
- 地場の物なのに通りすがりに眺めていたので、新しい漆を見られて良かったです。漆の血を貰いに行こうと思う。
- また「漆」をフィーチャーした企画や展示を行ってほしい。
- 郷土料理のワークショップとても良かったです。漆器の使い方も勉強になりました。
- 今後も取組を応援しています。
- 伝統工芸が年々後継者不足で会津の漆塗りが大丈夫かなと思っていましたが、若い方もかなり力を入れて、伝統工芸+現代工芸で活躍の場があり良かったと思います。
- 実際に学校等で行われている取り組みを見ることができたり、歴史的なことについても学ぶことができ、漆についての知識を深めることができました。今回、漆の魅力展を企画していただき誠にありがとうございます。元から興味があったため、来るのができて良かったです。
- とても楽しかったです。もっと若い人にも親しみをもってもらいたいです。
- 漆の魅力をとくさん知ることができました。
- もっとたくさん展示があるとよかったと思う。お茶の道具や下駄などをもっと見たかった。
- 今回の展示会場は広くて良かったが、新作はないのだろうか？
- コラボデザートが器がかわいかった。まちなかでの宣伝が不足しているのでは？もっと認知度をあげてほしい。
- ワークショップに参加してみたかったが、値段が高くてできなかった。小さいものでもいいので、中高生向けに、1,000円～1,500円くらいで体験できるものがあれば嬉しかった。まなべこの入口が分かりにくかった

- ので、もう少しやっている感が出ていいと良かった。
- ぐい呑み体験の日を複数から選べれば良かった。
- 以前のように、街中に展示があって巡れると楽しいな。
- 気軽に参加できる体験がたくさんあれば良いと思う。
- （漆関連の）ツアーぜひ実施してほしいです。
- 過去に漆のワークショップへ参加しました。今回も参加してみたかったです。もう少しお手頃価格でできる物があると参加しやすいです。
- 会津の伝統を若い方に積極的にPRして、輪島塗などに並ぶようになってほしい。展示内容に五感の要素が少なかったように思う。手で持ったりできる見本を置くべきだと思う。
- 新しい試みにチャレンジしてほしい。
- 魅力に出会った後に、（漆のものを）連れ帰ることができたらいいな一と思いました。
- 実際の作品を手にとれるようなイベントを実施してほしい。作り手の方と直接お話しする機会がもっとも楽しかった。
- 会津の漆の良さをもっとアピールして市内の方にもより、大勢の方に体験などを通じてアピールした方が良い。
- お手頃のワークショップに期待しています。3,000円は少し高いです。
- 昨年までの作品展示がなくて残念。
- 昨年までのような作品展がなく残念です。
- 今回ちょうど来た時に、いくつか貸し出し中で見られなかったのが少し残念でした。昨年より規模・開催場所が縮小され、展示数が少なかったのも残念でした。でも、内容自体は良かったです。また漆の知識がついて勉強になりました。
- 説明文にふりがながほしい。小学校5・6年生が読めるようにしないと広がらない。
- 全国の漆芸作品、戦国時代の漆の出土品が見たい。
- 長く続けてください！楽しみにしています。他の県・地域とのコラボ。
- 体験楽しかったです。もっと多くのワークショップがあれば良いな。
- 身近に使える物の展示品も必要かと思う。給食に使われているものとか。
- 会津に美術館があって、このような美術品・文化財がまとめて常設展示できるスペースがあると良いと思う。
- 作品をじっくり見られるような場所がもっと多くてもいいのでは？
- とても魅力的なイベントでしたので、もし次回がありましたら参加したいと思いました。認知度が低いように感じたので、PRをもっとできたら良いかと思います。
- あらひ朱の根室が見たかったです。
- 入口が分かりづらい。
- （漆の）器で食べるようなイベントを企画してほしい。
- 漆作品（伝統工芸、アートのもの）が見たい。
- 来年も漆のオープンスタジオを開催してほしい。

あいづまちなかアートプロジェクト2023 会津・漆の芸術祭 キービジュアル

■ポスター



～ 漆の未来[これから]をみんなで考えよう ～

会津 漆の魅力展

2023. 10.13(金) - 11.3(金・祝) ※月曜除く

会場 会津若松市歴史資料センター まなべこ ほか

「会津 漆の魅力展」常設展

会津と漆の歴史年表	今さら聞けない？ウルシのあれこれ	かびがアートプロジェクト 継承と挑戦
会津地域と漆の歴史の深さ～いつながりを、市の収蔵品を交えた、年表形式でご紹介します！	かつて会津の繁栄を支えてきた【ウルシ】について、どれくらい知っていますか？奥深いウルシの世界を体感してください。	●過去の特別企画で制作した、珠玉の漆工品の数々を展示します。 ●会津にゆかりある漆の作り手の作品を展示します。

まなべこ歴史文化講座「会津と漆の歴史」

まなべこ内の企画展示を見ながら、会津と漆の関わりと歴史等について学びます。

開催日 10月21日(土)
開催時間 ①13:30～14:00 ②14:30～15:00
【お申し込み】 歴史資料センターまなべこ(27-2705) ※10/31(火)よりお電話でのみ承ります。
会場 まなべこ 企画展示室
定員・参加費 各回10名(計20名) 無料

開催期間 10月13日(金)～11月3日(金・祝) ※月曜休館
開催時間 9:00～17:00 ※最終入場 16:30
会場 まなべこ 企画展示室(城東町2-3)
参加費 無料

※この印刷物は、福島県森林環境税を活用して制作しました。

【主催】 あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会 **【共催】** 会津若松市、会津若松市教育委員会
【助成】 令和5年度福島県森林環境交付金事業、公益財団法人朝日新聞文化財団(県下用)
【後援】 福島県、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、ふくしまFM、エフエム会津(県下用)
【お問い合わせ】 あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会事務局 TEL: 0242-39-1305 (会津若松市文化課) F965-0873 福島県会津若松市道手町2番41号 FAX: 0242-39-1272

※今さらイベント情報は下記QRにチェック!!

あいづまちなかアートプロジェクト HRPはこちら

あいづまちなかアートプロジェクト Facebookはこちら

■チラシ（表面）



■チラシ（裏面）



資 料 編

大戸町南原地内における特用林ウルシ樹育成事業

事業概要

本事業では、本市の代表的な伝統工芸である漆器産業の更なる発展のため、植栽管理中の一箕町金堀のウルシ団地に続き、大戸町南原での新たなウルシ団地の整備を進めています。

福島県の森林環境税を活用しながら、平成29年度から令和4年度までの期間に、2,300本の苗木を植栽してきました。

令和5年度事業では土壌改良に替えて客土を行い、ウルシの苗木が完全に落葉した時期に合わせ、50本の苗木を植栽しました。

また、令和4年度事業に引き続き苗木保護のための獣害防止用ネットを設置し、保育管理の強化を図りました。

さらに、今年度は植栽地である大戸町の小・中学生、ウルシ苗を栽培している会津農林高等学校の生徒、漆工芸を学ぶ会津大学短期大学部の学生など若い世代に参加いただき、ウルシ苗の植樹体験を実施することができました。

こうした体験や事業内容に関する情報発信を通じて、地元の森林整備や会津漆器に興味を持つ方を増やし、将来の林業従事者の育成や会津の漆文化の継承につながることを目指しています。

これまでの実績

南原の事業用地約11.8haのうち、今年度までに3.15haの土壌改良と2,350本の植栽を実施しており、植樹した苗木は、約15年後に会津漆器の原料としてウルシ液の採取が見込まれることから、継続して保育管理に努めています。

	植栽数（本）	土壌改良（ha）
H29	450	0.6
H30	450	0.6
H31・R1	450	0.6
R2	450	0.6
R3	450	0.6
R4	50	0.075（客土）
R5	50	0.075（客土）
合計	2,350	3.15



南原開発農地の空撮写真



会津農林高等学校の生徒による植栽作業

会津・漆の芸術祭部会について

古くから会津の地で守り伝えられてきた「漆」という文化資源を未来へ伝承するため、これまで10年にわたり、漆のアート作品の鑑賞機会創出などを通じて、漆そのものの魅力や、地域の歴史・文化・芸術の素晴らしさを発信してきました。

11年目となる今年は、今後の活動の指針となる部会目的を新たに設定し、その実現に向け、地域の皆様とともに、漆をテーマとした様々な活動を実施することができました。引き続き、次の10年を見据え、未来へ向けた提案ができるよう取り組んでいきます。

部会目的

漆文化が日常に改めて浸透し、人々の心、暮らし、まちをより豊かなものにしていけるよう、会津の漆について知り、学び、より身近に体感できる様々な機会を創出する。また、漆樹の育成や活用、培われた技術や感性の発信、地域の歴史や文化との関わりを考える取組など、様々な側面から掘り下げを行い、自然の恵みと人の営みにより生み出される、会津ならではの漆の可能性を探索していく。これらの取組を循環させ、漆文化を介した多様な人々の交流の場を創出しながら、次の世代に未来へ向けた提案ができるよう、地域とともに会津の漆文化の継承・発展を図る。

事業内容

- ①漆を知り、学び、体感する機会の創出
- ②漆を育て、活用し、考える機会の創出
- ③漆の可能性を探索する機会の創出
- ④漆文化を介した交流の場の創出

メンバー 9名

事務局 会津若松市教育委員会 文化課

ウルシ樹の展示・掻き取りの様子・ウルシ林造成について紹介

会津・漆の芸術祭事業の一環で開催した「会津 漆の魅力展 常設展」において、ウルシ液の掻き取りを行った原木（一箕町金堀地区で伐採）やウルシの苗木、掻き取りに必要な道具などを展示したほか、掻き取りの様子を写真や動画を通してご覧いただきました。

また、大戸町南原の開発農地におけるウルシ林造成の取組について、説明用のパネルを作成し、下刈り、客土、植栽といった作業工程を紹介しました。

期間：10月13日(金)～11月3日(金)

会場：会津若松市歴史資料センターまなべこ 企画展示室



ウルシ樹の展示



大戸町南原開発農地におけるウルシ林造成



『この秋、会津をアートなまちに育てよう。』

そんな沢山の人の想いを込めて、この展示会は開催されました。

本展では、会津ゆかりの作品や市の収蔵美術作品の新たな「発見」、会津の新しいクリエイターの「発掘」をテーマに、アートを紹介した多様な人々の「交流の場づくり」を目指しました。それは新たなチャレンジの連続でもありました。

第一期では、「新しいAIZUの美術展」、「わたしの表現・みんなの表現展 ～障がい者アート展～」、「会津工芸新生会展」とのコラボレーションによる一体的な空間を作り出し、文化が持つ多様性、創造性、相互理解の考え方を大切にした表現の数々を紹介しました。また、誰もがアーティストになれる機会を創出した「私の好きな会津365」、若い世代の学びと市収蔵美術作品の新しい鑑賞方法を紹介した「ちいさな美術館」、地元の若い作家を紹介した「アーティスト・クリエイターの世界」、気軽にアートを体験できるワークショップなど、地域の多様な人々が、アートを知り、学び、接する機会づくりを行いました。

第二期では、「会津美術協会展」との連携による、さわって楽しめる展示コーナーやアート教室の開催、「私の好きな会津365」の受賞作品をまちなかの店舗に展示するなど、アートを介して人と人、ヒトとマチとがつながるきっかけづくりを行いました。

展示会をつくり上げるその過程も一つの「交流の場」と捉えることで、地域を想う沢山の人の参画による知恵とエネルギーが集結し、様々な課題を乗り越える大きな力となりました。とりわけ、会場を案内するボランティアを公募し、展示会の準備から会期中の温かく心地よい会場の雰囲気づくりまで貢献いただいた、アート・コミュニケータの存在は本展の一つの象徴となりました。

多様な地域の人々の参画と多彩な表現の数々により、人と人、人と作品、さらにはヒトとマチとの出会いが生まれ、日々成長し続ける“地域で育む展示会”となりました。

私たちが大切にしたいもの、それは、“会津若松市がアートの力で面白いまち、魅力的なまちとなるよう、これから10年先を手渡せる人を育てること”です。アートを通じた出会いや学びが人の感性や創造力を育て、まちや暮らしをより豊かなものにしていけるよう、本展が地域の皆さまと一緒にまちの未来について考えるきっかけになれば幸いです。



ワークショップ



アート・コミュニケータ



来場者数
第1期・第2期
(全24日間)
2,347人

私の好きな会津365



新しいAIZUの美術展



会津工芸新生会展



ちいさな美術館



会津ゆかりのアーティスト・クリエイターの世界



ワークショップ

第一期 会期 2023年9月29日(金)～10月9日(月・祝)
午前9時30分～午後5時(最終日は午後3時30分まで)
10月2日(月)は休み

場所 会津若松市文化センター(会津若松市城東町14-52)

第二期 会期 2023年10月18日(水)～10月31日(火)

場所 会津若松市文化センター、市内の10店舗

■アートで人とまちをつなぐ部会ディレクター：伊藤達矢(東京芸術大学 社会連携センター)

■「会津 ヒトとマチとのアート展」

アート・コーディネーター：西本真理子

アドバイザー・市収蔵美術作品ワークショップチームリーダー：大政愛(はじまりの美術館)

会場構成アドバイザー：青山ひろゆき(東北芸術工科大学)

一般参加型作品展チームリーダー：馬場泰(会津美術協会)

アート・コミュニケータチームリーダー：平山えり子(会津美術協会)

広報物デザイン：西本浩幸

会場の様子



障がい者アート展



会津美術協会展



休憩コーナー

●アート・コーディネーター 西本真理子さん(野口英世青春通り協議会)

私は普段飲食業と食品加工業を行う会社を経営しています。小さい頃から絵を描くことが好きでした。また、仕事において「デザインの重要性」は大切にしており、美術館へ行ったりするのも好きでしたから会津若松市にも美術館があったらいいのになあという気持ちは持っていました。しかしながらまさかあいづまちなかアートプロジェクト2023へ参加することに、しかもアート・コーディネーターとして全体をまとめる役割を担うことになるとは思っていませんでした。アートの知識もない中でアートイベントを作り上げるということは、かつてないプレッシャーを抱えながらの約半年間でした。

さまざまな美術展へ足を運ぶたびに自分にはできないという気持ちになることもありましたが、一度引き受けた仕事を投げ出すことだけはしたくないと、頭を悩ませたどりついたものが「会津 ヒトとマチとのアート展」でした。アートは美術館の中だけでなく、街の中にあったらもっと楽しい。アートに興味がある人だけでなく、街全体を巻き込んで「アートがある暮らし」の第一歩を作りたいと思い「私の好きな会津365」や「クリエイターBOX」などこれまでと違った企画をやらせていただきました。静かに観る美術展と違い、来場していただいた方々にワクワクしてもらいたい。話し声が飛び交ったって良い。子どもにもたくさん来てほしい。そんな美術展があっても良いと考えました。

本番を迎えるまでたくさんのハードルや壁が立ちました。それでも部会の皆さまのおかげで想像していた以上のあいづまちなかアートプロジェクト2023が完成したと思います。たくさんの方に来場いただき、皆さまが楽しんでいる姿をみて、やって良かったと思いました。会津若松市にこれから美術館ができるかわかりませんが、アートが広がってもらえる一歩につながってくれたらと思います。

アート・コミュニケーター

本展の受付や案内をするアート・コミュニケーターを初めて公募しました。展覧会やアートに興味がある、人と話すのが好き、地域の活動に参加したいという方々13名に応募いただきました。アート・コミュニケーターとは、「アートを介して、人と人や、人と作品などをつなぐ役割を行う人たち」です。中学生、文化団体の会員、アーティスト、アートに興味をもつ人、県外在住の外国人留学生など各々の個性や能力を活かし、温かいおもてなしで来場者を迎えていただきました。

●アート・コミュニケーター チームリーダー 平山えり子さん（会津美術協会）

「アート・コミュニケーター」という耳慣れない活動に、どのくらい人が集まり何をするのか。始まるまでは期待と不安が同居していました。メンバーの大半が初対面で、出来立ての展示会場で確認し、相談しながらの初日でした。ところが、三日目には来場者の様子を感じ取りながら、各々が持ち味を活かして行動していました。身体の不自由な方や子供連れの方にも、安心して会場を巡っていただくための気配り。活発なお子さんの見守りと危険箇所の改善。雰囲気壊さない作品保護の工夫。一緒に展示している他団体との協力と連携。ワークショップのサポート。来場者と鑑賞しながらのおしゃべり等々。いつの間にか、当番ではないメンバーも会場で活動している姿が増え、予定外の全員揃ってのフィナーレとなりました。「コミュニケーター」の在り方はいろいろあるのでしょうか、とても素敵な体験でした。多くの方々にご指導とご支援を頂き、益々次が楽しみです。



●アート・コミュニケーター 星 有美さん

スタッフや地域の皆様から教えていただきながら、専門知識がなくても楽しく充実した活動ができました。設営や撤収といった活動も達成感がありました。来場者の方と近い距離でお話ししてみると、私自身の感想も、来場者1人1人の感想も全く同じということがなく、同一の作品でも受け止め方が多様なことに驚きました。美術館は他者と話さず鑑賞するイメージが強かったのも、とても新鮮な体験でした。

アート教室では、初心者の方も講師の方から教えていただきつつ作品を完成することができました。展示に関わるだけでなく、制作の過程を体験できたことで、アート・コミュニケーターとしての活動や美術作品により深みを感じられるようになりました。



一般参加型作品展「私の好きな会津365」

「誰もがアーティストになれる!」きっかけづくりとして、会津の様々なヒト・モノ・コトをテーマに、はがきサイズの絵画や写真などのオリジナル作品を募集しました。応募された全ての作品593点を展示し、展覧会を彩りました。表彰式では、受賞者同士の交流も生まれ、笑顔溢れる和やかなセレモニーとなりました。受賞作品は第二期で市内の10店舗に展示し、アートでヒトとマチがにつながる機会を創出しました。

第一期 会 期 2023年9月29日(金)～10月9日(月・祝)

場 所 会津若松市文化センター

表彰式 2023年10月9日(月・祝) 午後2時～





表彰式の様子



受賞者のみなさん

■18歳以下の部

最優秀賞 石川 晃聖
優秀賞 金田 かなで
うりう はる
小滝 唯人
佳作 ながみね とうこ
とよだ ゆづき
杉山 心優
諏訪 梨華
佐藤 詩葉
あいはら るい

■一般の部

最優秀賞 吉井 信夫
優秀賞 一ノ瀬 善正
芳賀 喜善
山口 麻千子
田中 禮月
本田 陽一
大泉 紗耶子
星 宏子
鈴木 俊江
小椋 悦子

■協力店賞

小川 柑奈 すずき るか おぐま ひまり
こやま かすみ 菅家 あむ 村澤 和
坂内 結来 小池 斗空
大竹 絢斗 わかな あかり



福西惣兵衛商店



紀州園



marusa



あいづ浪漫亭しおぐら



食堂カフェ ハレの日



タカハシプラザ



PonoLea Coffee



Azzuro



サトウ時計店



栄町オサダ



第二期 会期 2023年10月18日(水)～10月31日(火)

場所 会津若松市内の各店舗
福西惣兵衛商店(大町一丁目1-45)
紀州園(大町一丁目1-55)
marusa(中央一丁目1-20)
あいづ浪漫亭しおぐら(中町4-16)
食堂カフェ ハレの日(中町4-11)
タカハシプラザ(中町4-38)
PonoLea Coffee
(中町1-23 野口英世青春広場内)
Azzuro(栄町1-19)
サトウ時計店(中町1-1)
栄町オサダ(中町1-4)

一般参加型作品展「私の好きな会津365」ができるまで

■一般参加型作品展チームの活動

多様な人々が誰でも気軽に参加できる作品展をつくるために、作品展チームのメンバーでゼロから企画を考えました。作品サイズや部門などの応募方法、チラシの内容、表彰に関すること、展示会場や展示方法などについて打合せを重ねました。

チラシの発送作業（7月6日）や展示作業（9月20日）は、作品展チーム、部会のメンバー、アート・コミュニケータに応募いただいた方々が協力しました。展示作業では、約5時間かけて、はがきサイズの作品約600点を七夕の短冊のようにつなげました。

会議



展示作業



賞状

設営



審査会の様子



審査員の皆さん

●一般参加型作品展チームリーダー

馬場 泰さん（会津美術協会）

「私の好きな会津365」は、担当者による事前の話し合いで、壁面にただ貼るのではなく面白い展示にする、作品サイズは参加しやすいはがきサイズにするなど、いろいろな意見が出ました。それを活かして、モビールのように風で動くユニークな展示方法が考えられました。これは大変好評でした。鑑賞する方が作品の裏をそっとめくって作者名を確かめる姿も見られました。アートの敷居を低くする試みとしての成果が沢山ありましたが、課題もありました。今回はいくつかのこども園にご協力いただいて作品数が増えましたが、一般の方々に応募していただく周知方法の工夫がさらに必要です。また、作品に季節感を求めるのは難しいこと、作品展示作業の担当者を増やすこと、市内店舗での展示についての周知方法等も課題です。会津をアートなまちに育てるこの取り組みは、これからの美術館に求められている多様な人々の交流の場について考える機会につながったと感じます。



会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」

この夏、中学生が2回のワークショップに参加しました。対話を重ねて、展示する会津若松市収蔵美術作品の選定から、作品解説づくりまで行った「ちいさな美術館」がうまれました。来場者はワークショップに参加した中学生自身が語る音声ガイドに真摯に耳を傾けていました。誰かと一緒に作品の感想を共有できる新たな鑑賞方法を紹介する機会になりました。

協力 社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館
出展作家 会津若松市収蔵美術作品
渡部菊二、荒川三郎、板橋英三、斎藤 清、
春日部たすく、玉川岩雄、渡部常好、鈴木亮平、
坂井千尋

「ちいさな美術館」の音声ガイドはこちらからお聞ください



アートカード

●参加者 大平悠斗さん

今回、ワークショップに参加してみて、自分の選んだ絵を実際に展覧会で展示するということが、あまりすることのない、とても貴重な体験をしたと感じました。さらに、自分の選んだ絵を実際に見ってもらって、みんながじっくり見ている様子を見て、みんなに見てもらおうというのは、見た人がどう感じるかに触れ、自分にもいい影響があるんだと思いました。今回のワークショップではとても貴重な体験ができました。本当にありがとうございました。

ワークショップ「会津若松市の作品でちいさな美術館をつくらう！」

会津若松市の様々な作品を見て、会津若松市内の中学生のみなさんが感じた「いいな」や「きになる」を言葉にして、期間限定の「ちいさな美術館」をつくるワークショップを開催しました。

2023年8月6日と26日の2日間、アートカードのワークショップや対話型鑑賞を重ね、展示する作品を選んだあと、作品鑑賞のガイドをつくりました。

講師 はじまりの美術館 学芸員 大政愛

協力 社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館

■第1回ワークショップ 日時：2023年8月6日(日) 午後1時～4時

応募いただいた中学生4名と講師により和やかな雰囲気で行なわれたワークショップがスタートしました。はじめに講師から「美術館」とはどのような場所なのか、仕事の内容や展示会の種類、展示会をつくる過程などについてお話いただいた後、市収蔵美術作品のアートカードでゲームをしたり、対話型鑑賞を体験しながら、作品への興味や学びを深めました。最後に参加者自身が「ちいさな美術館」で展示する作品を2作品ずつ選び、次回はいいよ選んだ作品を間近で鑑賞しながら、作品の解説づくりや展示会の準備に挑戦することになりました。



■第2回ワークショップ

日時：2023年8月26日(土)

午後1時～4時

第1回に引き続き、中学生4名に参加いただき、講師と一緒にじっくり作品と向き合う時間となりました。会場には、「ちいさな美術館」のために第1回目のワークショップで選定した作品が展示され、参加者との初対面となりました。アートカードでゲームをした後、選定した作品について対話型鑑賞を行いました。その後、作品解説と音声ガイドをつくり展示会の準備を進めました。



●市収蔵美術作品ワークショップ チームリーダー

大政愛さん（はじまりの美術館学芸員）

会津若松市は多くの作品を収蔵しています。その数は470点を超えますが、これらの作品を鑑賞できる機会は多くありません。會津稽古堂のみちくさギャラリーで展示されている他、年に一度、作品の一部が「ふれあい美術展」という形で、市内の小学校の体育館で展示・公開されています。

収蔵作品の活用が期待されるなか、私がキュレーターとして関わったあいづまちなかアートプロジェクト2022「とまりぎ美術館で待ちあわせ」では、目玉企画のひとつとして、現代に生きる作家のみなさんが収蔵作品の中から1作品ずつ選び、そこからインスピレーションを受けた新作を制作いただきました。多様な作品がアーティストと出会い直すことによって、新たな見方や表情が生まれました。

今回、あいづまちなかアートプロジェクト2023の会議を行うなかで、プロジェクト全体のミッションのひとつに「10年先の次の世代へとつないでいく」という言葉がアがりました。それを受け、今年は会津の中学生たちと収蔵作品が出会うワークショップ「会津若松市の作品でちいさな美術館をつくらう」を企画しました。

ワークショップに参加した中学生は4人。中には、美術館という場所に行っていないという生徒もいました。まず、収蔵作品が描かれた45枚の「アートカード」を使って、ゲームを行い、作品を観察したり言葉にしたりすることから始めました。その後「対話型鑑賞」という手法を使い、言葉を重ねながら、グループで作品を鑑賞しました。ワークショップは終始和やかな雰囲気で行なわれました。初回の最後に自分たちが紹介したい・伝えたい作品を2作品ずつ選び、2回目のワークショップでは自分たちが希望した作品で対話型鑑賞を行いました。そして、その作品を鑑賞する誰かに伝えるためのテキストを書き、声に読み上げ音声ガイドにしました。中学生たちのまなざしで気づいたことや感じたことが伸びやかに表現されたように感じます。展示会場では、初めて収蔵作品に出会う人たちも、元々作品を知っている人たちも、生徒たちの言葉とともにじっくりと鑑賞する姿が見られました。

「作品」というものは、誰かが価値があると感じ、伝えていかないと未来に残っていくことは困難です。また、そもそも何を価値とするかと考えることも大切です。今回のあいづまちなかアートプロジェクトの軸は、市民がアートに触れる機会が増えることに加えて、市民が自分たちの手で場を作っていくことにあると思います。会津で暮らす中学生たちがつむいだ言葉たちはこれからも残り、きっと、次の世代へと作品をつないでいくきっかけになったのではないのでしょうか。

会津ゆかりのアーティスト・クリエイターの世界

会津ゆかりのアーティスト2名とクリエイター16名に参加いただき、自由で多彩な表現の世界を紹介しました。

アーティストBOXでは、小野木亜美さんの縦2m×横7mを超える大作や会津をテーマとした複数の作品を紹介しました。また、2021年開催の「なかにわ美術館で待ちあわせ」で来場者の「妄想」を元に滞在制作された、川合南菜子さんの「会津若松美術館建立妄想絵巻」も昨年度に引き続き出展いただきました。クリエイターBOXではりんご箱を再利用した展示スペースに、地元のクリエイター自身によって展示された作品の数々が来場者を迎えました。QRコードで各クリエイター情報をその場で確認でき、展覧会での出会いがアートへの新たな興味、関心へとつながっていました。

出展作家 小野木亜美、川合南菜子、ERiko、Atelier Karasu、Little*yui、結和(ゆいまーる)、山口麻千子、Hectare(ヘクター)、smile_stella、shu*shu、L'ami de Flore ～ラミドフロール～、kanmuri、MW Design、agooll(オグール)、木工房MEGURO、One's home、會津の絵工房 アイヅノエクポー、ひさみつまゆみ

アーティストBOX

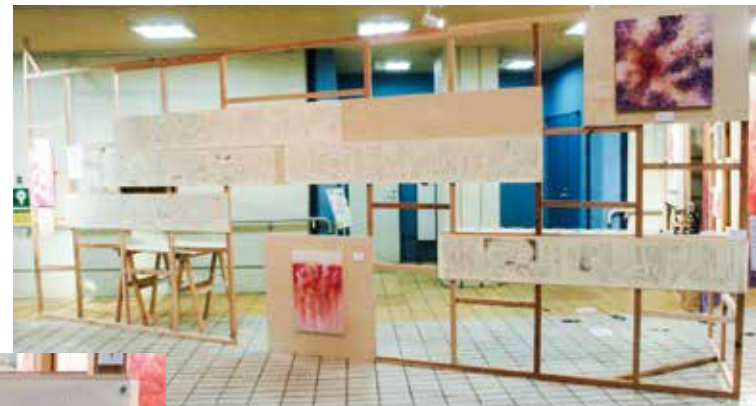


spectrum



小野木亜美さん 滞在制作

会津若松
美術館建立妄想絵巻



クリエイターBOX



Little*yui



ひさみつまゆみ



結和(ゆいまーる)



Atelier Karasu



木工房MEGURO



會津の絵工房 アイヅノエクポー



agooll(オグール)



smile_stella



Hectare(ヘクタール)



One's home



山口麻千子



kanmuri



ERiko



MW Design



shu*shu



L'ami de Flore
～ラミドフロール～

●クリエイター

結和(ゆいまーる) 猪俣久美子さん

参加後、問い合わせや来店頂いたり嬉しい再会があったり、SNSでご覧頂いている方とリアル対面ありで麻と真菰のある生活を楽しんで頂く機会もできました！これからもホッと安心でき、一步踏み出す勇気が出るお守りとしめ縄づくりを仲間も増やしながら作品づくりに励みます。ありがとうございました！

■小野木亜美さん 滞在制作

2023年9月30日(土)、10月1日(日) 小野木亜美さんの滞在制作が行われました。コロナ禍に飲食店で使用していたアクリル板を使って初めて作品を制作していただきました。和紙をちぎって、その細やかな繊維に絵の具をのせ小野木さんの手による偶然と必然が生み出すグラデーションは、まるで顕微鏡を覗いているかのようでした。小野木さんがテーマとする「生命」や「細胞」が変化していく、生き物のミクロとマクロの世界。来場者との会話も弾み、笑顔溢れる2日間となりました。



●アーティスト 小野木亜美さん

今回の展示は初めて地元での展示となり、私にとって心に残る展示となりました。

私は2021年に大学を修了したのですが、その時はコロナ禍で、修了後すぐに地元である会津に帰ることができませんでした。それまで当たり前のように見てきた会津の街をより思い出すようになり、自分の作品にも自然と会津の景色が反映されていました。その時に描いた作品が今回ポストカードにして頂きました「spectrum」です。会津に住んでいるならば誰もが見たことのある春の景色、雪の中で力強く咲く桜を描いています。今回作品と共に会津に帰り、展示ができたこと、そしてポストカードとして会津の方々の手に渡ったこと、とても光栄に思います。

また展示だけではなく、公開制作もさせて頂きました。今回の展示と公開制作は、「距離」ということを考える時間だったように思います。

公開制作で描いた作品には、コロナ禍で使用していたアクリル板と、和紙、アクリル絵の具などを使用しました。アクリル板に手でちぎった和紙などを貼りこむことで、「触れた」ということが形に残るような表現にしています。その上に桜の花びらと溶け始めた雪のようなものを描き込み、会津の厳しい冬の終わりを感ぜさせる作品となるよう描きました。透明で冷たい板だったものに、解けた雪のような滲みの表現と桜の花びらを描くことで、厳しかったコロナ禍もようやく雪解けを迎えたのかもしれないという意味を込めています。公開制作中、どんなもので描いているのかを知ってもらうため、見に来て下さった方々と話をし、作品に使用する素材に触れてもらう瞬間もあったのですが、作家と鑑賞者との距離が近くに感じられる時間だったからこそ、こういった表現になったのだと思います。

ソーシャルディスタンスのため、人と人との間を隔てていたアクリル板でしたが、今回の展示で人と人との距離を近づけるものとなったのは思いがけないことでした。

今回の展示では懐かしい方々ともお会いできました。これまで作家として自分がどんなことをしてきたのか、どう変わったか、何が変わらなかったかなどを報告できたような気持ちになり、「このためにやってきたのだ」と実感する展示となりました。

お声がけ頂いた東北芸術工科大学の青山ひろゆき先生、あいづまちなかアートプロジェクトのスタッフの皆様、手伝ってくれた大学の後輩、作品運送等にご協力頂いた皆様、お越し頂いた皆様に、心よりお礼申し上げます。

わたしの表現・みんなの表現展 ～障がい者アート展～

市内の障がい福祉サービス事業所を利用している方々や個人で創作活動を行っている障がいのある方々の個性豊かな表現84作品を紹介しました。

主催 会津若松市地域自立支援協議会 活動支援部会
出展者 自立支援事業所くれよん、障がい者支援施設アガッセ、
 障がい福祉サービス事業所コパン、COLORFUL、りんどうの家、
 障がい相談支援事業所ー花、障がい者相談支援事業所あいづにし、
 障がい者相談支援事業所アガッセ、鈴木由紀子、松田匡慈、下平寛



●鈴木美奈子さん (会津若松市社会福祉協議会)

今年のアート展はレイアウトが各コーナーごとに見やすく全体的に華やかさが感じられました。また、コミュニケーターの方の説明もあり大変よかったです。

9事業所3個人の方の作品を見て「創作意欲が沸き生きる希望になっています。」(当事者の方)「障がいの多様性と支援者の温かさが伝わってきました。」などの感想があり、次年度もあいづまちなかアートプロジェクトに参加させていただきたいと思います。

新しいAIZUの美術展2023

絵画、彫塑、工芸、書の領域から、会津地域・福島県にゆかりのある、地域が誇る新鋭作家の力作43作品を紹介しました。

主 催 公益財団法人会津若松文化振興財団

出展作家 井上俊介、金澤文利、川合南菜子、柴山奈津美、ジン、土田翔、角田嶺月、所彰宏、樋口健也、増子哲平、舩田玲香、宗像利訓、持田勇貴、吉田江里



●アーティスト ジンさん

まずは、この度、「会津 ヒトとマチとのアート展」内で行われた「新しいAIZUの美術展2023」に出展させていただきましたことを、心より感謝申し上げます。お声掛けいただいた方々、作品を見ていただいた方々に深く御礼申し上げます。会場内はコラボレーションされたことによる作品同士の相乗効果があって、とても見応えがあり、遠方から来る人にとっても、一度にたくさん鑑賞できるよい機会になったことと思われます。これからもまた参加させていただきたいと思いました。ありがとうございました。

第59回会津工芸新生会展

会津地方を中心に半世紀以上の歴史を誇る会津工芸新生会。漆芸、陶芸、木工芸、金工、七宝と5つのジャンルで活躍する工芸家の55作品を紹介しました。

主 催 会津工芸新生会

出展作家 荒井勝裕、大竹信一、大森茂光、大澤周一、国分幸一、小林弘和、小松茂夫、佐竹敦夫、佐竹伸也、佐藤達夫、照井克弘、坂内憲勝、宗像利浩、渡辺雅旺



●照井克弘さん（会津工芸新生会）

会津工芸新生会はお陰様で今年第59回目の展示会を無事に終えることが出来ました。新生会は主に漆、木工、陶器の作り手が日頃の製作の中で培った技術や技法を発表する場所であると考えております。今年の展示は会津若松市文化センターでの複合開催ということで、老若男女、多様な市民の方々にも見ていただけたのではないかと思います。私自身も多様な製作を見ることで改めて表現をすることの楽しさ、難しさ、豊かさいろいろな感情を受けとることができました。一方で、多様な作り手が参加しているということが分かるように作り手一人一人の顔の見える展示の方法なども出来れば良かったのかと思いました。今後の参考にしていただければ幸いです。会津工芸新生会は来年、第60回を迎える記念展となります。今まで支えていただいた大勢の方々に感謝の気持ちを込め展示会を開催したいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

ワークショップ・休憩コーナー

■カラフル切り絵ワークショップ

講師の先生が丁寧に染めた和紙を使って、まるでステンドグラスのようなカラフルで美しい切り絵をつくりました。

日時 2023年9月30日(土)、10月1日(日)、10月5日(木)

各日3回開催 10:00～、13:00～、15:00～

講師 芳賀好子



■みんなでアート小法師をつくろう

展覧会の作品に囲まれて、誰もがいつでも参加できるワークショップ。巨大な起き上がり小法師に、絵でも言葉でも自由な発想でお絵描きし、セロハンテープで貼り付けします。週末は家族連れで賑わい、最終日には小法師を包み込むほどの多数の作品が、ワークショップコーナー全体を彩り、来場者みんなの想いの詰まった華やかなアート小法師が出来上がりました。



■休憩コーナー

「お茶を飲みながら、展覧会や作品の感想について来場者同士で共有できる交流スペースをつくりたい。」本展を象徴するコーナーの一つとして、来場の皆さまにも大変好評だった休憩コーナー。展覧会の風景を眺めながら時間を忘れて過ごせる居場所となりました。



●佐々木賢さん

ワークショップと休憩コーナーを担当しました。小さい子どもから大人まで様々な人々が楽しく過ごせて、はじめて出会う来場者同士でもお茶を飲んでくつろぎながら会話が弾むような空間をつくりたいと思いました。

アート小法師ワークショップの大型小法師2体（ベニア板縦180cm×横1m）は、誰でも気軽に参加できるようにデザインを工夫しました。参加者は準備された折り紙に願いを込めて折ったり、切ったり、書いたりした作品を小法師に各自貼り付けている姿はアートを身近に感じ、アートへの参加意識が高まったと思います。

ステンドグラス風のカラフル切り絵ワークショップでは、講師の丁寧な指導の中、1組1時間30分の時間で作り、参加者は完成作品を大事そうにパネルに貼り付けていました。カッターを使い集中力のいる作品づくりでしたが、子どもから大人まで3日間で20人が参加してくれました。

休憩コーナーは文化センターに設置されている丸テーブル1～3人用に加えて、来場者の交流が生まれるよう大型テーブル4～8人掛けも設置し、親しみやすいテーブルクロスとフラワーアレンジメントを置き、自由に気軽に使える雰囲気づくりをしました。また、展覧会の会場に木材を使用することから、そのコンセプトに合わせて、布に竹林のカラー絵（横10m×高さ1.8m）を描き、自然に近い場所をつくりました。会期中は、休憩している方の「ウー、休まるネー」という声を耳にしました。

今回の展覧会は、担当者を決めてチームごとに役割分担してつくり上げました。個人のアイデアを大事にしながらも、展覧会全体の目的やコンセプトを見失わないように協力できるチームづくりが大事だと思います。多様な人たちと一緒に一つのものをつくり上げるという視点が、見る人の心も変えられるのではないかと思います。

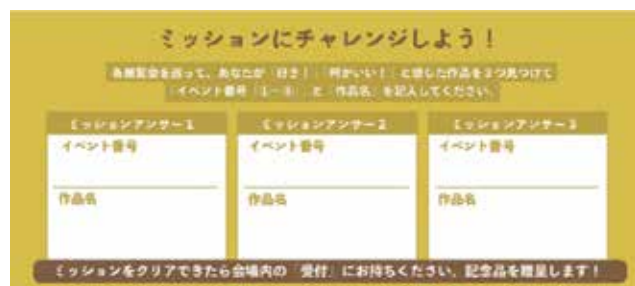
■「作家のひとへ、手紙を書こう」のコーナー

来場された方が、展覧会や作品を見て、感想やメッセージ、質問や気づきなど作家に宛てた手紙を書くコーナーを設けました。来場者と作家の出会いとその後の交流にもつながりました。



■ミッション参加によるノベルティの絵葉書

複数の展覧会との共同開催のため、会場内の回遊性を生む工夫として、公式ガイドマップに「ミッション」を設けました。来場者に各展覧会やコーナーを巡っていただき、気に入った作品を見つけた方には、出展作家の絵葉書をプレゼントしました。



小野木亜美《spectrum》



よしもりたけはる《ワンズの赤ベコ》



ひさみつまゆみ《十日市》

第60回記念 会津美術協会展



会津美術協会の委員・会員による日本画・洋画・彫塑・工芸美術・書 70作品を紹介しました。新たに取り組んだ「さわって楽しむアートコーナー」では普段触れることのできない作品の数々や段ボールを使った遊べるアート作品に親しみ、親子連れて賑わいました。また、アート教室では、学生から大人まで幅広く参加いただき、和やかな雰囲気講師や参加者同士の会話を楽しみながら思い思いの作品づくりに取り組みました。

会期 2023年10月18日(水)～10月22日(日)
午前9時30分～午後5時(最終日は午後3時30分まで)
主催 会津美術協会



■ さわって楽しむアートコーナー



■ アート教室

• デッサン教室

会期 2023年10月21日(土) 午前9時30分～午前12時

講師 若杉儀子



• ドライポイント教室

会期 2023年10月21日(土) 午後1時30分～午後4時30分

講師 安部直人



● 馬場 泰さん（会津美術協会）

今年の会津若松市文化センターは一期、二期でアートな空間になり、まるで小さな美術館が誕生したかのようでした。一期は、中央の特設展示場を中心に各部屋が連動し、一体的な展示となりました。それを受け、二期の会津美術協会展は、多彩なアート表現の展示、さわって楽しむアートコーナー、デッサン・ドライポイントなどのワークショップを充実させました。超期間限定ですが、文化センターでもこれだけのアートイベントができました。この熱量を次年度に確実に引き継ぎます。

「会津 ヒトとマチとのアート展」がうまれるまで (アートで人とまちをつなぐ部会の活動について)

「もし、会津若松市に美術館があったらどのような取組ができるのか」

これからの美術館について、皆さんとともに考える機会となるよう、2021年に「なかにお美術館で待ちあわせ」、2022年に「とまりぎ美術館で待ちあわせ」を開催し、アートを介した新たな出会いとそこで生まれる大切な何かを共有する場づくりを行ってきました。2022年に事業の企画検討と運営等を行う「アートで人とまちをつなぐ部会」を立ち上げ、2023年には文化芸術の有識者をはじめ、アートに興味を持つ市民の皆さまなど23名に参画いただき、2023年の事業内容について時間をかけて検討しました。

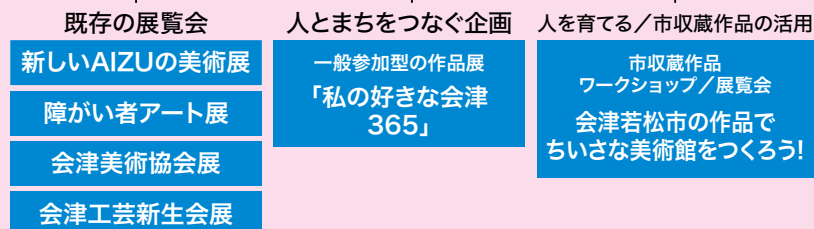
昨年(2022年)の来場者アンケートなどから注目した点

- より多くの多様な人々がつながる機会が少ない
- これからの美術館に望むこと
 - 地元作家の作品が見たい、新しいものに出会う場所、若手作家の作品が見たい、有名な作品が見たい、伝統工芸が見たい

これまでの気づきから、事業を統括するアート・コーディネーターをまちの賑わいづくりに取り組まれている、西本真理子委員にお願いし、さらに、既存の展覧会と連携しながら、会津の新しいアーティスト・クリエイターとの出会いを生み出す展覧会を開催することになりました。また、地域資源を活かした未来を育む人材育成を目指し、会津若松市の収蔵美術作品を活用したワークショップも実施することにしました。

イメージ図
(企画書から)

会津 ヒトとマチとのアート展



(部会の目的)

アートに触れる(考える)機会の創出

アートに関わる人を育てる
/市収蔵作品の活用

テーマ この秋、会津をアートなまちに育てよう
ターゲット 若い世代(13~18歳)
コンセプト 会津ゆかりの作品や会津若松市収蔵美術作品を新しい目線で展示・案内することで、会津の新しいアーティスト・クリエイターを発掘し、会津をアートな街に育む。

●会場構成デザイン アドバイザー 青山ひろゆきさん(東北芸術工科大学教授)

今回の複合的なコンテンツを1つの会場にまとめて披露する試みは、様々な共鳴が喚起され発展性を感じました。また、昨今の美術には多様な捉え方があり、「これが美術」と限定することはできません。拡大もしています。だからこそ社会への浸透も柔軟な角度で広範囲に影響をあたえることができるはずです。本イベントを通して多くの方々にそれら豊かな美術のあり方を心に受け止めていただくことで、会津若松の将来へ穏やかに波及していくのではないかと考えます。

会場構成アドバイザーとしては、非常に短期間での状況把握とプラン構築であったため至らない所もありましたが、地元の方々の温かい支援や的確な情報共有に支えられ会場を実現できたことに感謝しています。人が介在することによって変化する生態的エリアをコンセプトに空間をイメージし、アート・コミュニケータの力で魅力的な様態を導けたと思います。会津若松市文化センターの展示会場としてのポテンシャルは、まだまだあります。各コンテンツの方との直接的なコミュニケーションを活性化させアートと街の豊かな協同によってさらなる発展を導けるはずです。今後も地元会津若松と共にアートの可能性を信じて歩んでまいりたいと思います。



●会場構成デザイン協力 栗原巳侑さん(東北芸術工科大学大学院生)

本展示会場はエントランスと直結した開放的空間でありつつ、通常の白い壁面とは異なる情報量の多い空間でした。その空間が持つ特性に合わせ、リアルタイムで企画図面をアップデートし模索する様子に、展示空間の個性を活用する力、そして共同で空間を作り上げる素晴らしさを学べたと感じます。ヒトとまちを題材に行われた本展は会期のみならず、その前後の設営・撤収に至るまで人と人の関わりが見える素敵な展覧会だったと感じます。

あいづまちながアートプロジェクト 2023

ワークショップ

「会津若松市の作品で
ちいさな美術館をつくろう!」

参加者
募集!

2023年 8月6日(日)・8月26日(土) 13:00~16:00

会場: 会津若松市文化センター 第二芸術教室 (福島県会津若松市緑町 14-52)

対象: 中学生・高校生

定員: 10名 ※先着順 (2回連続で参加できることが望ましいです。無い場合は個別にのご参加ください)

講師: 大庭 隆 (はにまらの美術館 代表)

参加費/申込額: 2023年 8月 1日 (金) ※当日に申し込みは参加を断念の扱いです。

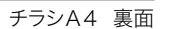
主催: 会津若松市文化アートプロジェクト実行委員会 (会津若松市美術館・会津若松市立美術館)

協賛: 会津若松市立美術館 会津若松市立美術館 会津若松市立美術館 会津若松市立美術館

お問い合わせ先: 会津若松市美術館 会津若松市立美術館 TEL: 0246-28-1300 9時~金9時~17時00分

[illegible]

ポスターB2・チラシA4 デザイン：西本浩幸



開催：平成作品 R5年8月31日 必着
 募集：R5年9月27日 会場へ直接搬入

一級参加型作品展



あいちまちなかアート
アクトシティあいち

絵画・写真 etc. 募集

あいちまちなかアートプロジェクト2023では会津の様々な
 作品・モノ・コトをテーマに絵画や写真などのオリジナル
 作品を募集いたします。あなたにとっての大好きな会津を
 教えてください。

- 作品テーマ あたしの好きな会津のモノ・モノ・コト
- 応募作品 風景・写真・その他平面作品
- 応募資格 会津地域在住の方。もしくは会津出身の方が関与の方
- 出品料 無料。出品品にかかる郵送料などは別途負担をお願いします
- 賞 額 365日以上の絵・写真の絵ごとに随時抽選賞・数量あり
- 作品展示 ①会津市ととやまのアーメンで展示します。
 会津 会津市総合市民館（10月20日～10月27日）月23:00～22:00 平日は10:00～17:00
 会津 会津市歴史文化センター（10月28日～10月31日）平日は10:00～17:00
- 応募要項 必ずすべての応募要項を御覧ください。
- 応募は 必ず封筒裏面をご確認ください。

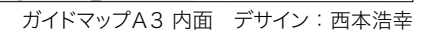
会津「とやま」とのアート展

会津市総合市民館
 あいちまちなかアートプロジェクト実行委員会事務局（会津市総合市民館）会津市総合市民館（会津市）
 0295-2272 会津市総合市民館（会津市）0295-2272 0295-2272
 E-mail: kankou@city.aizu-shi.lg.jp

会津市総合市民館
 会津市総合市民館
 会津市総合市民館
 会津市総合市民館

●広報物デザイン 西本浩幸さん

プロジェクト進行としては、必要な制作物を初期に決定することでスムーズな進行が可能になると感じました。プロジェクトをリードする方が毎年変わるような場合、特にデザイン面においては専門性が求められるので毎年同じ信頼できるデザイナーに依頼することで意思決定が容易になると思います。予算も少ない中での進行だと思うので、横断幕や垂れ幕など視覚的な要素よりも企画内容や実動部分に予算を充てていくことでより効果的にプロジェクトを進行できるのではと感じました。



展覧会づくりを効果的に進めるため、部会のメンバーでチーム編成を行い、各チームにおいて企画の詳細を話し合い、準備しました。

チーム：①一般参加型作品展、②広報、③会場構成、④アート・コミュニケータ、
⑤市収蔵美術作品ワークショップ



■打合せ記録

- 6月5日(月) アート・コーディネーター打合 / 今後の進め方について
- 6月14日(月) 一般参加型作品展チーム打合 / 作品展の企画について
- 7月6日(木) 一般参加型作品展チラシ配付作業
- 7月20日(木) 会場構成会議(全体) / 関係団体の意見交換、情報共有
- 7月31日(月) 会場構成チーム(部会) / 企画の検討
- 8月6日(日) 会場構成チーム(部会) / 会場の下見
- 9月4日(月) 会場構成チーム(部会) / ワークショップ、休憩スペースの検討
- 9月20日(水) 一般参加型作品展チーム打合 / 展示作業、スケジュール等
- 11月7日(火) 一般参加型作品展 / 発送作業

アートで人とまちをつなぐ部会

目的 アートを通じた出会いや学びが人の感性や想像力を育て、まちや暮らしをより豊かなものにしていけるよう、アートを知り、学び、接する機会をつくり、人をつなげ、多様な機関や領域にも広がるようなさまざまなプロジェクトを展開します。同時に、このような取組を未来へ引き継いでいけるよう、これから10年先を手渡せる人を育みながら、面白いまち、魅力的なまちについて地域とともに考え、交流できるような、恒常的で創造的なコミュニケーションの場の創出を目指します。

- 事業内容**
- ・常設展示スペースのあり方の検討
 - ・アートを知る機会の創出
 - ・魅力的なまちづくりを話し合う場づくり
 - ・地域とともに活動できる場の創出
 - ・他領域(教育、産業、福祉など)に文化芸術が有効につながる回路づくり

メンバー 23名 文化芸術に関する学識経験者、文化団体、建築士の団体、商店街組合、会津若松市民の皆さま

「会津 ヒトとマチとのアート展」出品作品一覧

No.	氏名	作品名	所属	展示名
1	一般応募作品593点		個人	一般参加型作品展「私の好きな会津365」
2	渡部 菊二	花園風景	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
3	渡部 菊二	日蝕	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
4	渡部 菊二	夏	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
5	春日部 たすく	花に狂う蝶たち	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
6	春日部 たすく	風花	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
7	春日部 たすく	庭	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
8	板橋 英三	ブナ原生林白神山(2)	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
9	荒川 三郎	加納の山	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
10	斎藤 清	グッスフンド	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
11	渡部 常好	鶴ヶ城春まつり	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
12	坂井 千尋	露の湖畔	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
13	玉川 岩雄	夢みる少女(ひと)	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
14	鈴木 亮平	村の女	会津若松市収蔵美術作品	会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」
15	井上 俊介	乾漆螺鈿飾箱「手謡唄」	個人	新しいAIZUの美術展2023
16	井上 俊介	乾漆螺鈿飾箱「鶴」	個人	新しいAIZUの美術展2023
17	金澤 文利	種記憶	個人	新しいAIZUの美術展2023
18	金澤 文利	綿津見譚(巻)	個人	新しいAIZUの美術展2023
19	川合 南菜子	手舟を漕ぐ	個人	新しいAIZUの美術展2023
20	川合 南菜子	手舟	個人	新しいAIZUの美術展2023
21	川合 南菜子	のびる水平線	個人	新しいAIZUの美術展2023
22	川合 南菜子	召し上げる	個人	新しいAIZUの美術展2023
23	柴山 奈津美	「みかの原」短歌二首	個人	新しいAIZUの美術展2023
24	柴山 奈津美	臨 黄庭堅「諸上座帖」	個人	新しいAIZUの美術展2023
25	柴山 奈津美	「盗人に」良寛の句	個人	新しいAIZUの美術展2023
26	ジン	唐人風 とうじんだこ	個人	新しいAIZUの美術展2023
27	ジン	赤べこ	個人	新しいAIZUの美術展2023
28	ジン	起き上がりこぼし	個人	新しいAIZUの美術展2023
29	土田 翔	GOLD SKY	個人	新しいAIZUの美術展2023
30	角田 瀬月	藤の花	個人	新しいAIZUの美術展2023
31	角田 瀬月	香紙切 臨書	個人	新しいAIZUの美術展2023
32	角田 瀬月	星の界	個人	新しいAIZUの美術展2023
33	所 彰宏	疾走	個人	新しいAIZUの美術展2023
34	所 彰宏	共鳴	個人	新しいAIZUの美術展2023
35	所 彰宏	赤い壁	個人	新しいAIZUの美術展2023
36	樋口 健也	帰宅路 ハンキーバンキー	個人	新しいAIZUの美術展2023
37	樋口 健也	車窓の田園 猪苗代町	個人	新しいAIZUの美術展2023
38	樋口 健也	車窓 まどろみ 磐梯町	個人	新しいAIZUの美術展2023
39	樋口 健也	きらきらと雨の田園 湯川村	個人	新しいAIZUの美術展2023
40	樋口 健也	西日の眼鏡 会津若松市	個人	新しいAIZUの美術展2023
41	樋口 健也	横へ芽芽する日常 猪苗代町	個人	新しいAIZUの美術展2023
42	樋口 健也	西日の田園 猪苗代町	個人	新しいAIZUの美術展2023
43	樋口 健也	帰宅路 青い電線	個人	新しいAIZUの美術展2023
44	樋口 健也	夕暮れの会津若松市	個人	新しいAIZUの美術展2023
45	樋口 健也	西日の紅葉 猪苗代町	個人	新しいAIZUの美術展2023
46	増子 哲平	会津磐梯山	個人	新しいAIZUの美術展2023
47	増子 哲平	MOTOMODA	個人	新しいAIZUの美術展2023
48	増子 哲平	息	個人	新しいAIZUの美術展2023
49	舩田 玲香	会津長門屋「Fly Me to The Moon 羊羹ファンタジア」原画	個人	新しいAIZUの美術展2023
50	舩田 玲香	Utopia(会津長門屋 羊羹ファンタジア イベント限定特別パッケージ原画)	個人	新しいAIZUの美術展2023
51	舩田 玲香	会津長門屋「Fly Me to The Moon chocolate チョコ羊羹ファンタジア」原画	個人	新しいAIZUの美術展2023
52	舩田 玲香	実りと巡り-会津の四季- 2022年度版 「極上の会津」ポスター・パンフレット帯装画	個人	新しいAIZUの美術展2023
53	宗像 利訓	翠彩掛分花瓶	個人	新しいAIZUの美術展2023
54	持田 勇貴	乾漆像「若獅子」	個人	新しいAIZUの美術展2023

No.	氏名	作品名	所属	展示名
55	持田 勇貴	螺旋時絵盃「月」「日」	個人	新しいAIZUの美術展2023
56	吉田 江里	春ノ渡〜廻り、つながる生命〜	個人	新しいAIZUの美術展2023
57	吉田 江里	花〜廻り、つながる生命〜	個人	新しいAIZUの美術展2023
58	共同制作	Flowing flowers	自立支援事業所くれよん	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
59	共同制作	花木	自立支援事業所くれよん	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
60	遠山 清	笑りの秋	自立支援事業所くれよん	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
61	江川 幸子	秋を満喫する	自立支援事業所くれよん	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
62	共同制作	色とりどりの世界	自立支援事業所くれよん	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
63	新井田 恵子	カラフルアンブレラ	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
64	川村 由架里	折り鶴のガーランド	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
65	川村 由架里	折り鶴の花火	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
66	白井 裕子	ちぎり絵「ひこうき」	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
67	白井 裕子	ちぎり絵「イチゴの花」	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
68	白井 裕子	ちぎり絵「うさぎ」	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
69	小原 恵治	詩「ひなを釣りに」	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
70	斎藤 千鶴	ピース手芸「ちーコレ」	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
71	金川 通	ポストカード	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
72	長谷川 未由	紙リングのシャンデリア	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
73	共同作品	赤べこ	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
74	共同作品(生産活動)	小法師ストラップ等	障がい者支援施設アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
75	コパン生活介護	コパンの秋	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
76	菅沼 美咲	わたしの夏	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
77	石山 弘明	俺の花火	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
78	佐藤 勇也	花火	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
79	多田 真理奈	夏の思い出	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
80	小原 咲	夏の夜空	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
81	黒須 美香	ペットボトルカバー	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
82	五十嵐 翔平	花火	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
83	西村 紀夫	西村ワールド	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
84	中島 玲仁	兜	障がい福祉サービス事業所コパン	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
85	黒須 博	段ボールアート(5点)	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
86	共同	ブリザードフラワー(6点)	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
87	穴沢 美和子	花火	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
88	穴沢 美和子	マリンタワ	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
89	共同	花かご	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
90	共同	クリスマスツリー	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
91	共同	おひな様	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
92	共同	天神様	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
93	佐藤 愛	メルヘン(オリジナル)	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
94	佐藤 愛	何ができるかな	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
95	共同	松ぼっくりリース	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
96	共同	ミニチュアボックス	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
97	渡部 勇	SDGs作品	COLORFUL	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
98	りんどうの家男子	起き上がり小法師	りんどうの家	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
99	りんどうの家女子	鶴の虹	りんどうの家	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
100	りんどうの家女子	花のカーテン	りんどうの家	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
101	石原 和幸	四号戦車	障がい相談支援事業所一花	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
102	北島 めぐみ	ブिक〜んのスウィーツのストラップ	障がい者相談支援事業所あいづにし	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
103	Forest	移りゆく季節	障がい者相談支援事業所あいづにし	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
104	Forest	秋の楽しみ	障がい者相談支援事業所あいづにし	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
105	仲村 征子	カワフキ	障がい者相談支援事業所あいづにし	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
106	佐藤 愛	クレーン	障がい者相談支援事業所あいづにし	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
107	芳賀 善善	ラスト ダットサン サニー	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
108	木原 響也	天空の島	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
109	木原 響也	音の家	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
110	木原 響也	ヘラクレスオオカブト(オス)	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
111	木原 響也	ヘラクレスオオカブト(メス)	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
112	木原 響也	標本1 ※クワガタなど	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
113	木原 響也	標本2 ※蝶々	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～

No.	氏名	作品名	所属	展示名
114	木原 響也	自然の家	障がい者相談支援事業所アガッセ	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
115	鈴木 由紀子	うつ病(わたし)の心	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
116	鈴木 由紀子	柔らかな人々	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
117	松田 匡慈	都道府県シリーズ 富士山の話	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
118	松田 匡慈	富士山の話 巨大な目から血が出る世界	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
119	松田 匡慈	鶴ヶ城	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
120	松田 匡慈	会津若松市のジオラマ	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
121	松田 匡慈	すずめとたんぽぽ	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
122	松田 匡慈	赤べこ	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
123	松田 匡慈	赤べこ(ファイターズ版)	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
124	松田 匡慈	展開式会津支援学校	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
125	松田 匡慈	ラーメン	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
126	松田 匡慈	こけし	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
127	松田 匡慈	東京タワー	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
128	松田 匡慈	富士山	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
129	松田 匡慈	起き上がり小法師	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
130	下平 寛	2023夏	個人	わたしの表現・みんなの表現展～障がい者アート展～
131	荒井 勝裕	黒柿串中継ぎ	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
132	荒井 勝裕	黒檀 香合	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
133	荒井 勝裕	黒檀 香合	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
134	荒井 勝裕	漆の木 香合	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
135	荒井 勝裕	櫛 尺盛皿	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
136	大竹 信一	乾漆魚文蓋物	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
137	大竹 信一	時絵盃 菊	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
138	大竹 信一	時絵盃 桜	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
139	大竹 信一	盃 只見線五景図	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
140	大森 茂光	黒閑張五段飾箱	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
141	大森 茂光	朱塗御椀 五重	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
142	大森 茂光	拭き漆名刺入れ 3個	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
143	大森 茂光	拭き漆八角茶筒	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
144	大森 茂光	青彩盛器	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
145	大澤 周一	彩石目皿 3枚	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
146	大澤 周一	彩石目カップ 1枚	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
147	大澤 周一	喰籠(清流) 1枚	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
148	大澤 周一	吸物椀(菊桐) 2枚	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
149	大澤 周一	彩石目杯 山女図 3枚	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
150	園分 幸一	皿 プログラムA・B	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
151	園分 幸一	螺細名刺入れ	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
152	園分 幸一	紙胎乾漆卓上名刺入れ 花模様	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
153	小林 弘和	ぐい呑み 変わり紅葉 2枚	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
154	小林 弘和	ぐい呑み 桜	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
155	小松 茂夫	八寸角盆 金箔地 菊絵	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
156	小松 茂夫	銅子 会津絵	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
157	小松 茂夫	盃 会津絵	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
158	小松 茂夫	八寸角盆 鉄錆塗 梅	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
159	小松 茂夫	七寸皿 鉄錆塗 龍	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
160	佐竹 敦夫	色絵象文小皿	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
161	佐竹 敦夫	染付ベンギン文小皿	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
162	佐竹 敦夫	色絵橋文路々皿	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
163	佐竹 伸也	茶盃	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
164	佐竹 伸也	茶盃	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
165	佐竹 伸也	茶盃	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
166	佐竹 伸也	絵罎リコービーcup	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
167	佐竹 伸也	花器	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
168	佐藤 達夫	カフェ・オ・レボール 2点	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
169	佐藤 達夫	金六角盃	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
170	佐藤 達夫	黒流水指	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
171	佐藤 達夫	片口 3点	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
172	佐藤 達夫	漆紋猪口 6点	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展

No.	氏名	作品名	所属	展示名
173	照井 克弘	蒔絵箱 牡丹	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
174	照井 克弘	蒔絵皿 椿	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
175	坂内 憲勝	乾漆オブジェ森の謠より 風のブーケ	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
176	坂内 憲勝	乾漆オブジェ森の謠より 冬こもり	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
177	坂内 憲勝	乾漆オブジェ森の謠より 望郷	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
178	坂内 憲勝	漆/パネル 窓へ	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
179	坂内 憲勝	香合 市松模様	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
180	宗像 利浩	柿のへた来晩	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
181	渡辺 雅旺	流雪	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
182	渡辺 雅旺	青い壺	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
183	渡辺 雅旺	赫いつぼ	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
184	渡辺 雅旺	白いつぼ	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
185	渡辺 雅旺	紫煙(つぼ)	会津工芸新生会	第59回会津工芸新生会展
186	川台 南菜子	会津若松美術館建立妄想絵巻	個人	アーティスト・クリエーターの世界
187	小野木 亜美	Babble	個人	アーティスト・クリエーターの世界
188	小野木 亜美	spectrum	個人	アーティスト・クリエーターの世界
189	小野木 亜美	spectrum	個人	アーティスト・クリエーターの世界
190	小野木 亜美	spectrum	個人	アーティスト・クリエーターの世界
191	小野木 亜美	spectrum	個人	アーティスト・クリエーターの世界
192	小野木 亜美	spectrum	個人	アーティスト・クリエーターの世界
193	小野木 亜美	spectrum	個人	アーティスト・クリエーターの世界
194	小野木 亜美	spectrum	個人	アーティスト・クリエーターの世界
195	小野木 亜美	am	個人	アーティスト・クリエーターの世界
196	小野木 亜美	am	個人	アーティスト・クリエーターの世界
197	小野木 亜美	Respiration	個人	アーティスト・クリエーターの世界
198	小野木 亜美	Respiration	個人	アーティスト・クリエーターの世界
199	小野木 亜美	Respiration	個人	アーティスト・クリエーターの世界
200	小野木 亜美	Spectrum-distance-	個人	アーティスト・クリエーターの世界
201	ERiko		個人	アーティスト・クリエーターの世界
202	Atelier Karasu		個人	アーティスト・クリエーターの世界
203	Little*yui		個人	アーティスト・クリエーターの世界
204	結和(ゆいまーる)		個人	アーティスト・クリエーターの世界
205	山口 麻千子		個人	アーティスト・クリエーターの世界
206	Hectare (ヘクタール)		個人	アーティスト・クリエーターの世界
207	smile_stella		個人	アーティスト・クリエーターの世界
208	shu*shu		個人	アーティスト・クリエーターの世界
209	L'ami de Flore へらトフロールへ		個人	アーティスト・クリエーターの世界
210	kanmuri		個人	アーティスト・クリエーターの世界
211	MW Design		個人	アーティスト・クリエーターの世界
212	agooll(オグール)		個人	アーティスト・クリエーターの世界
213	木工房MEGURO		個人	アーティスト・クリエーターの世界
214	One's home		個人	アーティスト・クリエーターの世界
215	會津の絵工房 -アイツノエクボ-		個人	アーティスト・クリエーターの世界
216	ひさみつまゆみ		個人	アーティスト・クリエーターの世界
217	安部 美登利	2023 夏	会津美術協会	第60回会津美術協会展
218	荒川 秀峰	大和古寺風物誌	会津美術協会	第60回会津美術協会展
219	五十嵐 君枝	いのり	会津美術協会	第60回会津美術協会展
220	五十嵐 天宗	李白詩	会津美術協会	第60回会津美術協会展
221	石山 信子	なんちゃって弾き語り(レリーフ)	会津美術協会	第60回会津美術協会展
222	伊藤 てる子	ななか	会津美術協会	第60回会津美術協会展
223	岩村 珠光	渾(すい)	会津美術協会	第60回会津美術協会展
224	遠藤 良雄	裏磐梯	会津美術協会	第60回会津美術協会展
225	大江 博	2023 夏	会津美術協会	第60回会津美術協会展
226	大谷 磐雨	西行のうたを	会津美術協会	第60回会津美術協会展
227	大瀧 達明	創生の光し	会津美術協会	第60回会津美術協会展
228	風間 和子	運河	会津美術協会	第60回会津美術協会展
229	菅家 恵扇	虹	会津美術協会	第60回会津美術協会展

No.	氏名	作品名	所属	展示名
230	菅家 文作	湯倉の夏景	会津美術協会	第60回会津美術協会展
231	加藤 美恵子	万葉の春	会津美術協会	第60回会津美術協会展
232	河野 絋扇	劉禹錫詩	会津美術協会	第60回会津美術協会展
233	小林 弘和	雲映	会津美術協会	第60回会津美術協会展
234	小樽山 光子	冬の滝谷川	会津美術協会	第60回会津美術協会展
235	小樽山 光子	盛夏	会津美術協会	第60回会津美術協会展
236	小嶋 貞	作品88	会津美術協会	第60回会津美術協会展
237	近藤 雅扇	孟浩然詩	会津美術協会	第60回会津美術協会展
238	佐藤 幹	梨流線文華器	会津美術協会	第60回会津美術協会展
239	佐藤 恵子	生きる	会津美術協会	第60回会津美術協会展
240	佐藤 愁香	めぐり逢ひて	会津美術協会	第60回会津美術協会展
241	佐藤 素峰	曲翠の句	会津美術協会	第60回会津美術協会展
242	佐藤 智子	なにー	会津美術協会	第60回会津美術協会展
243	佐藤 光	養生金垂零天童	会津美術協会	第60回会津美術協会展
244	斎藤 信月	七言二句	会津美術協会	第60回会津美術協会展
245	斎藤 恒緒	プロミネンス	会津美術協会	第60回会津美術協会展
246	斎藤 咲花	与謝野晶子のうた	会津美術協会	第60回会津美術協会展
247	酒井 幽泉	秋館池亭	会津美術協会	第60回会津美術協会展
248	佐瀬 幸廣	LINE	会津美術協会	第60回会津美術協会展
249	三城 静菫	草野心平詩	会津美術協会	第60回会津美術協会展
250	塩田 光顕	家 族	会津美術協会	第60回会津美術協会展
251	色摩 武愛	黒獅子祭り	会津美術協会	第60回会津美術協会展
252	白石 光史	良寛詩	会津美術協会	第60回会津美術協会展
253	鈴木 智子	海 風	会津美術協会	第60回会津美術協会展
254	髙松 宏雄	初 夏	会津美術協会	第60回会津美術協会展
255	滝澤 史清	林	会津美術協会	第60回会津美術協会展
256	堤 城春	七言二句	会津美術協会	第60回会津美術協会展
257	道順 雄喜	すべてのものに	会津美術協会	第60回会津美術協会展
258	長嶺 キミ	風の花	会津美術協会	第60回会津美術協会展
259	成田 桃園	曉(あかつき)	会津美術協会	第60回会津美術協会展
260	新田 穂積	鶴ヶ城	会津美術協会	第60回会津美術協会展
261	芳賀 早萌	機	会津美術協会	第60回会津美術協会展
262	蓮沼 勇悟	ガーデンニング	会津美術協会	第60回会津美術協会展
263	長谷川 隆子	季節の中で	会津美術協会	第60回会津美術協会展
264	長谷川 英雄	黒沙門沼と磐梯	会津美術協会	第60回会津美術協会展
265	花見 潤子	室 内	会津美術協会	第60回会津美術協会展
266	馬場 泰	イロイロナキモチ2022-2	会津美術協会	第60回会津美術協会展
267	坂内 憲勝	月日は過ぎて	会津美術協会	第60回会津美術協会展
268	樋口 朝亨	会津山水畫	会津美術協会	第60回会津美術協会展
269	平野 恵泉	近江の海	会津美術協会	第60回会津美術協会展
270	平山 えり子	昔語り	会津美術協会	第60回会津美術協会展
271	星 華月	和 歌	会津美術協会	第60回会津美術協会展
272	星 豊月	七言二句	会津美術協会	第60回会津美術協会展
273	星 香月	風花雪月本間	会津美術協会	第60回会津美術協会展
274	星 翠光	白い鵬が飛ぶ	会津美術協会	第60回会津美術協会展
275	宮森 彩舟	われは草なり	会津美術協会	第60回会津美術協会展
276	山内 淳美	西宮秋怨	会津美術協会	第60回会津美術協会展
277	山田 松淵	菜根譚	会津美術協会	第60回会津美術協会展
278	山谷 七栄	臨送要將軍詩	会津美術協会	第60回会津美術協会展
279	矢部 松嶺	送友人	会津美術協会	第60回会津美術協会展
280	湯田 賢太郎	初 陽	会津美術協会	第60回会津美術協会展
281	吉井 信夫	駐車場あり	会津美術協会	第60回会津美術協会展
282	吉田 信之	gravitational wave	会津美術協会	第60回会津美術協会展
283	若杉 儀子	秋田犬こうたさん	会津美術協会	第60回会津美術協会展
284	渡部 克美	里 山	会津美術協会	第60回会津美術協会展
285	渡部 玉蘭	鶴	会津美術協会	第60回会津美術協会展
286	渡部 洋舟	鷹	会津美術協会	第60回会津美術協会展

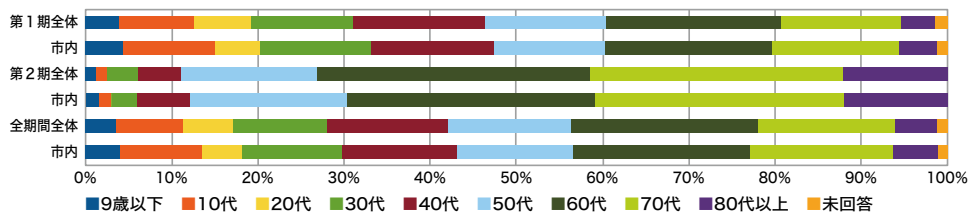
会津 ヒトとマチとのアート展 来場者アンケート結果

※まちなかの
展示は除く

第1期		第2期		全期間	
会 期：	令和5年9月29日(金) ～10月9日(月・祝)10日間	会 期：	令和5年10月18日(水) ～10月22日(日)5日間	会 期：	第1期＋第2期＝15日間
場 所：	会津若松市文化センター (会津若松市城東町14-52)	場 所：	会津若松市文化センター (会津若松市城東町14-52)		
来場者：	1,098人	来場者：	749人	左記会場の来場者：	1,847人
アンケート回答数：	596枚 (回収率54.3%)	アンケート回答数：	82枚 (回収率10.9%)	アンケート回答数：	678枚 (回収率36.7%)

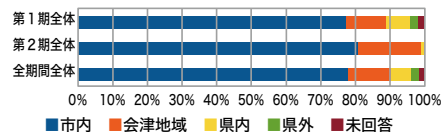
1. 年齢

	%	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
第1期	全体	3.9	8.7	6.5	11.9	15.3	14.1	20.3	13.9	3.9	1.5	100
	市内	4.3	10.7	5.2	12.8	14.3	12.8	19.3	14.8	4.3	1.3	100
第2期	全体	1.2	1.2	0.0	3.7	4.9	15.9	31.7	29.3	12.2	0.0	100
	市内	1.5	1.5	0.0	3.0	6.1	18.2	28.8	28.8	12.1	0.0	100
全期間	全体	3.5	7.8	5.8	10.9	14.0	14.3	21.7	15.8	4.9	1.3	100
	市内	4.0	9.5	4.6	11.6	13.3	13.5	20.5	16.5	5.3	1.1	100



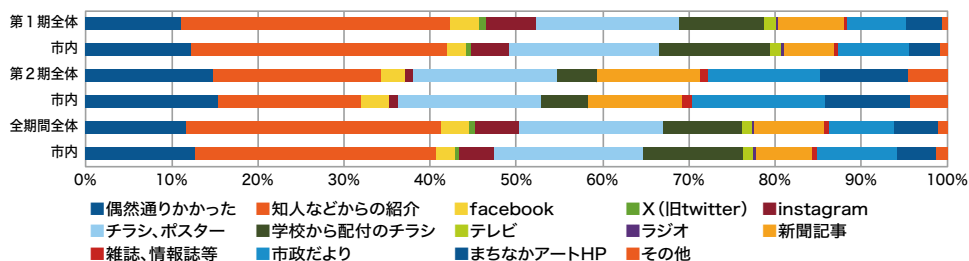
2. どこから来たか

	%	市内	会津地域	県内	県外	未回答	合計
第1期	全体	77.2	11.6	6.7	2.5	2.0	100
	市内	12.2	29.8	3.1	0.6	4.5	100
第2期	全体	80.5	18.3	1.2	0.0	0.0	100
	市内	77.6	12.4	6.0	2.2	1.8	100



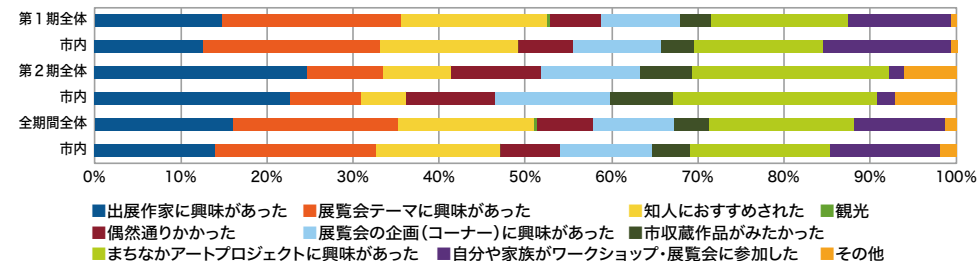
3. 展覧会を知ったきっかけ(複数回答)

	%	偶然通りかかった	知人などからの紹介	face book	X(旧 twitter)	insta gram	チラシ、ポスター	学校から配付のチラシ	テレビ	ラジオ	新聞記事	雑誌、情報誌等	市政だより	まちなかアートHP	その他	合計
第1期	全体	11.1	31.2	3.3	0.9	5.7	16.7	9.8	1.4	0.3	7.6	0.4	6.8	4.2	0.7	100
	市内	12.2	29.8	2.1	0.6	4.5	17.4	12.8	1.3	0.4	5.8	0.4	8.3	3.6	0.9	100
第2期	全体	14.8	19.4	2.8	0.0	0.9	16.7	4.6	0.0	0.0	12.0	0.9	13.0	10.2	4.6	100
	市内	15.4	16.5	3.3	0.0	1.1	16.5	5.5	0.0	0.0	11.0	1.1	15.4	9.9	4.4	100
全期間	全体	11.6	29.6	3.2	0.7	5.1	16.7	9.1	1.2	0.2	8.2	0.5	7.6	5.0	1.2	100
	市内	12.7	27.9	2.2	0.5	4.0	17.3	11.7	1.1	0.3	6.6	0.5	9.3	4.5	1.4	100



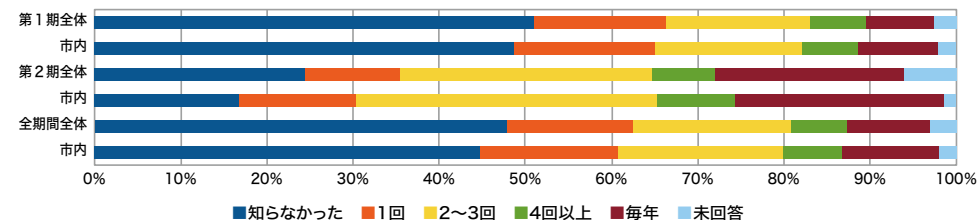
4. 来場のきっかけ(複数回答)

	%	出展作家に興味があった	展覧会テーマに興味があった	知人におすすめされた	観光	偶然通りかかった	展覧会の企画(コーナー)に興味があった	市収蔵作品がみたかった	まちなかアートプロジェクトに興味があった	自分や家族がワークショップ・展覧会に参加した	その他	合計
第1期	全体	14.7	20.8	16.9	0.4	5.9	9.1	3.6	15.9	11.9	0.7	100
	市内	12.5	20.5	16.0	0.0	6.3	10.2	3.9	14.9	14.7	0.9	100
第2期	全体	24.6	8.8	7.9	0.0	10.5	11.4	6.1	22.8	1.8	6.1	100
	市内	22.7	8.2	5.2	0.0	10.3	13.4	7.2	23.7	2.1	7.2	100
全期間	全体	16.0	19.2	15.7	0.4	6.5	9.4	4.0	16.9	10.5	1.4	100
	市内	14.0	18.6	14.4	0.0	6.9	10.7	4.4	16.2	12.8	1.9	100



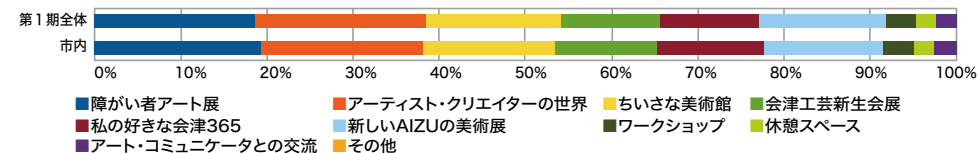
5. 昨年までに、あいづまちなかアートプロジェクトに来場した回数

	%	知らなかった	1回	2～3回	4回以上	毎年	未回答	合計
第1期	全体	51.0	15.3	16.8	6.4	7.9	2.7	100
	市内	48.7	16.3	17.0	6.5	9.3	2.2	100
第2期	全体	24.4	11.0	29.3	7.3	22.0	6.1	100
	市内	16.7	13.6	34.8	9.1	24.2	1.5	100
全期間	全体	47.8	14.7	18.3	6.5	9.6	3.1	100
	市内	44.7	16.0	19.2	6.8	11.2	2.1	100



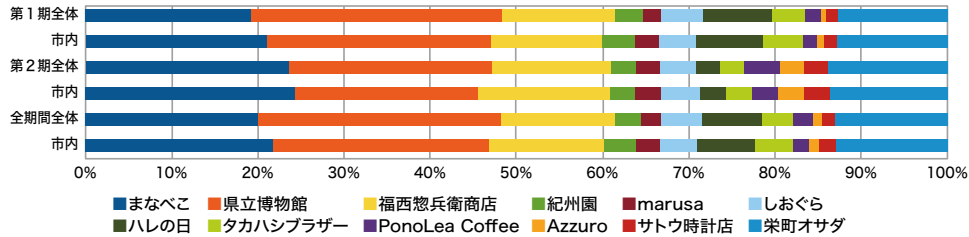
6. 展覧会で楽しめた企画や印象に残った企画(複数回答)※第一期のみ

	%	障がい者アート展	アーティスト・クリエイターの世界	ちいさな美術館	会津工芸新生会展	私の好きな会津365	新しいAIZUの美術展	ワークショップ	休憩スペース	アート・コミュニケータとの交流	その他	合計
第1期	全体	18.6	19.9	15.6	11.6	11.4	14.8	3.5	2.3	2.4	0.0	100
	市内	19.3	18.8	15.3	11.8	12.5	13.7	3.7	2.3	2.6	0.0	100



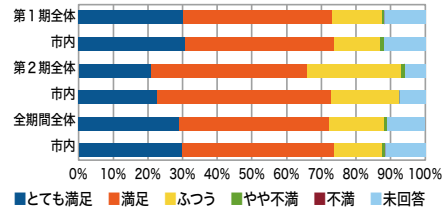
7. 今年のあいづまちなかアートプロジェクトで本会場以外で観覧予定の会場(複数回答)

	%	まなべこ	県立博物館	福西惣兵衛商店	紀州園	marusa	しおぐら	ハレの日	タカハシプラザ	PonoLea Coffee	Azzuro	サトウ時計店	栄町オサダ	合計
第1期	全体	19.2	29.1	13.1	3.2	2.2	4.8	8.0	3.8	1.9	0.6	1.3	12.8	100
	市内	21.0	26.1	12.8	3.9	2.7	4.3	7.8	4.7	1.6	0.8	1.6	12.8	100
第2期	全体	23.6	23.6	13.9	2.8	2.8	4.2	2.8	2.8	4.2	2.8	2.8	13.9	100
	市内	24.2	21.2	15.2	3.0	3.0	4.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	13.6	100
全期間	全体	20.0	28.1	13.2	3.1	2.3	4.7	7.0	3.6	2.3	1.0	1.6	13.0	100
	市内	21.7	25.1	13.3	3.7	2.8	4.3	6.8	4.3	1.9	1.2	1.9	13.0	100



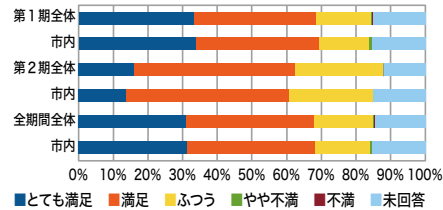
8. 展覧会の満足度

	%	とても満足	満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	合計
第1期	全体	30.0	43.0	14.3	0.8	0.0	11.9	100
	市内	30.7	43.0	13.3	0.9	0.0	12.2	100
第2期	全体	20.7	45.1	26.8	1.2	0.0	6.1	100
	市内	22.7	50.0	19.7	0.0	0.0	7.6	100
全期間	全体	28.9	43.2	15.8	0.9	0.0	11.2	100
	市内	29.7	43.9	14.1	0.8	0.0	11.6	100



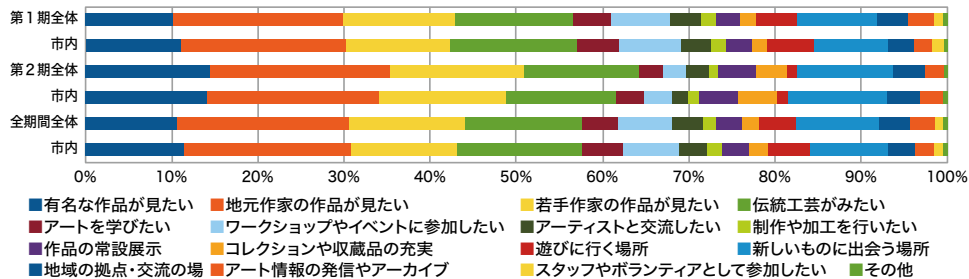
9. スタッフの満足度

	%	とても満足	満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	合計
第1期	全体	33.1	35.2	15.9	0.5	0.2	15.1	100
	市内	33.7	35.7	14.3	0.7	0.2	15.4	100
第2期	全体	15.9	46.3	25.6	0.0	0.0	12.2	100
	市内	13.6	47.0	24.2	0.0	0.0	15.2	100
全期間	全体	31.0	36.6	17.1	0.4	0.1	14.7	100
	市内	31.2	37.1	15.6	0.6	0.2	15.4	100



10. これからの美術館に望むこと(複数回答)

	%	有名な作品が見たい	地元作家の作品が見たい	若手作家の作品が見たい	伝統工芸がみたい	アートを学びたい	ワークショップやイベントに参加したい	アーティストと交流したい	制作や加工を行いたい	作品の常設展示	コレクションや収蔵品の充実	遊びに行く場所	新しいものに会える場所	地域の拠点・交流の場	アート情報の発信やアーカイブ	スタッフやボランティアとして参加したい	その他	合計
第1期	全体	10.1	19.7	13.1	13.6	4.4	6.9	3.6	1.7	2.8	1.8	4.8	9.3	3.6	3.0	1.1	0.5	100
	市内	11.0	19.2	12.0	14.7	4.9	7.2	3.4	1.8	3.0	1.8	5.4	8.6	3.0	2.1	1.3	0.5	100
第2期	全体	14.4	20.9	15.5	13.4	2.7	2.7	2.7	1.1	4.3	3.7	1.1	11.2	3.7	2.1	0.0	0.5	100
	市内	14.1	19.9	14.7	12.8	3.2	3.2	1.9	1.3	4.5	4.5	1.3	11.5	3.8	2.6	0.0	0.6	100
全期間	全体	10.6	19.9	13.5	13.6	4.2	6.3	3.5	1.6	3.0	2.0	4.3	9.6	3.6	2.9	1.0	0.5	100
	市内	11.4	19.3	12.4	14.5	4.7	6.6	3.2	1.7	3.2	2.2	4.8	9.1	3.1	2.2	1.1	0.5	100



自由記載欄 (一部抜粋)

私の好きな会津365

- 私の好きな会津の絵はとても良いと思った。子どもたちの不思議な絵も各々点数をつけがたい位にほのぼのとしている。
- はがきアートの飾り方がきれいでした。子どもたちの作品が沢山で楽しませてくれました。
- とても温かい雰囲気の中、笑顔いっぱいの表彰式素敵でした。

ちいさな美術館

- 中学生のコラボ企画いいですね。対話型鑑賞初めて知りました。生徒の多彩な見方感じ方に感心しました。
- とても興味深かったです。こんな風に美術を学ぶことができたなら学生時代もっと美術が好きになったんだろうなあと中学生たちが少しうらやましくもありました。
- 中学校や高校の先生の作品がありとてもなつかしく思いました。
- 今回参加してみて自分の紹介作品が展示されていてものすごくテンションが上がりました。また、新しい作品の見方を知れたので楽しかったです。
- 中学生に限ることなく大人も巻き込んでやってもらいたいです。作品の見方も本当は分からない大人も多いので今回のような対話式で素敵な言葉感想を引き出してほしいです。
- 勉強になる良い作品をできるだけ多く見たいものです。収蔵作品は作者の略歴があった方がこんな方がいたということを知る良い機会になるように思います。

新しいAIZUの美術館

- 秋を楽しんでる気分。書が好きだから興味深かった。
- いろんな作家さんを知ることができてとても良かったです。
- 毎回見えています。立派な作品が多いですが、我々素人には書道の漢字が難しく分からない作品が多い。作品の説明を分かりやすく端の下に貼ってあると作品の意味とか解釈が理解できるので助かります。

障がい者アート展

- うつの方の書いた文章心に響きました。言葉を見て頑張ろうと思いました。
- 優しい色使い、とてもほのぼのとした気持ちになりました。
- 毎年見ているが、とても柔らかさを感じる。優

- しい作品を観ることができて、いわゆる発達障害も様々なのだと思った。素晴らしかったです。
- 特に印象的でした。沢山見れる機会があれば嬉しいです。また来たいです。
- とても印象に残りました。障がいを持っている人が作ったとは思えない作品がたくさんあってびっくりしました。とても良い展覧会でした。障がい者の方たちの器用さに驚きます。頑張ってください。
- 障がい者の方の作品も素晴らしく一緒に作品作りたいです。このような機会に出会えて嬉しいです。

会津工芸新生会展

- とてもいい作品でした。

会津ゆかりのアーティスト・クリエイターの世界

- 小野木さんの作品もう一度だしてほしい。和紙の工夫や美しさきれいで楽しかった。もう1回来たいです。
- 作家さんの制作しているところが見れてお話もできてよかった。
- 川合南菜子さんの絵がとてもほのぼののして絵本やマンガになればいいと思いました。
- クリエイターBOXが新しい見せ方かわいかったです。スペースをもう少し広くとっていただけたらもっと楽しかったと思います。

ワークショップ

- 子どもと一緒に楽しみました。
- アート小法師の体験が子どもたちに好評でした。とても癒されました。また来たいです。
- 切り絵体験が楽しかったです。
- 素敵な作品に見て触れることができてとても良かったです。子どもが楽しめるような作品作りができるスペースがあればもっと良かった。お絵描きは家でもできるので。

アート・コミュニケーター

- スタッフの方から丁寧に声をかけていただいたり説明していただいたり、楽しく拝見させていただきました。親切で気持ち良い時間でした。
- 子連れに優しくしてくれてありがとうございました。話ができることがとても良かったです。

展覧会全体

- 毎年楽しみにしています。ただ鑑賞するだけでなくワークショップがあるのがいいですね。
- 一度にいろいろなジャンルの素敵な作品に触れることができて楽しかったです。
- 一般の方のアートがたくさんみれてよかったです。

- 美術館のない会津でアートに触れられて刺激を受けました。また作者の方と交流ができて貴重な経験になりました。とても楽しかったです。
- 展覧会のテーマ1つ1つが流れがあって全体を楽しめる感じでとても雰囲気よかった。いつもは個室の展示コーナーが少し寂しい感じで入りづらく感じる事があったが全体が明るく文化センター内が楽しい空気でした。
- 久しぶりに楽しくアートに触れました。少し企画数が多く分かれすぎているかなと思いました。
- 多数の作家が出展しているので面白い反面雑多な感じがする。
- 展示で低い位置の作品を観るのがしんどかった。老眼で小さな字はづらい。
- 学生（中学、高校）の作品も見たい。ジャンルはなるべく多く。
- 伝統的な会津塗のコーナーもあれば今どきの女子高校生が好きそうなおしゃれな絵、子ども楽しめるコーナーなど、どの世代でも絶対に楽しめる展覧会だと思いました。また次も来てみたいです。
- 会津の伝統工芸、漆や陶芸などの職人の手仕事作品を充実してほしいです。
- 作品がもっとたくさんあればいいと思います。絵はとても素敵でした。会津木綿の作品も欲しいと思います。
- 立派な作品が多く見とえがあります。何回か来場したが、書道や絵画等は作品の説明を必ず一緒に展示してもらいたい。素人にも作品の意図や何が表現されたかよく分からないので。
- 作品の素材や作成過程などがわかるともっとその作品を理解できると思いました。展示の仕方もとてもステキでした。会津出身の作家の方が素晴らしい作品を作られていることに感動しました。もっともっと色々な所で観られるといいと思いました。
- 地元に関する作品の展示→地元愛。作って見てみたいにつながるような展示を望みます。地元を面白く表現してくれるような。素敵な作品ばかりでした。美術館がない会津若松に今後このような企画が続いてほしいと思います。
- QRコードがたくさんあったのでWi-Fi環境が会場にあればなお良かった。

会場構成

- 見ごたえがありました。木材の構造物がやわらかい雰囲気よかったです。

会期

- 会期をもっと長くして市民や観光客へアピールしてほしい。

アートプロジェクト

- アートをこのような場所でやっていることを知らない人がまだたくさんいます。もっと知ってほしい。
- 私は外国人ですが会津に住んでいてアーティストとして働いています。このようなイベントはローカルですからとてもうれしいです。すべての作品はおもしろくてきれいなのでこの展覧会は楽しかったです。また行きたいいつかたぶん作家かボランティアとして参加したいと思います。
- とても心に残る作品をたくさん観ることができ感動しました。これからもこのアート展を続けてもらい、皆さんに感動を届けてくださるとうれいです。
- 毎年色々な形でいいのでアート展をやってほしい。これからもアートの楽しい企画を待っています。
- 来年も継続して開催できるよう反省点を活かしてがんばってください。これからもっと大きなイベントとして活動してほしい。
- 素敵な作品に包まれ心から癒される非日常の時間を過ごすことができました。これからもアートを身近に触れ感じられる場を設けていただければ幸いです。
- とてもすてきな企画だった。このような体験ができる場が常になればいいと思う。会津若松市に美術館をつくってほしい。
- 若松に美術館が欲しい!美術館建立妄想絵巻を読んでとてもうなづけました。いろいろな美術館があると楽しいですね。
- 小さい子もたくさん来ていて小さい頃から気軽にアートに触れあえるとてもいい場所になっていると思いました。こんな場所がもっと増えるとアートを通した地域交流が進むと思います。
- 特に子どもがアートに触れる機会が市内には少ないので文化センターのような既存施設でいいので気軽に楽しめる場所があると私たちの生活もまちも豊かになると思います。
- スタッフの皆さんの感じが良かったです。立派な美術館という建物でなくて、これからつくる予定の子育て施設の中などにもこういう空間があれば子どもから大人までアートに触れ、関わることができ、豊かなまちになると思いました。

あいづまちなかアートプロジェクト2023 (会津・漆の芸術祭×まちなかピナコテカ)開催概要

あいづまちなかアートプロジェクト2023では、「会津 漆の魅力展」と、「会津 ヒトとマチとのアート展」を開催し、アートを介した出会いや学びを通して、人、まち、暮らしがより豊かなものとなっていくよう様々な機会づくりを行いました。

「会津 漆の魅力展」では、会津ならではの文化資源である“漆”を切り口に、会津若松市内各所で様々なイベントやワークショップを開催しました。漆の魅力を感じ、親しみを持っていただくだけでなく、地域の人々とともに漆や地域文化の未来について考えるきっかけづくりを目指しました。

「会津 ヒトとマチとのアート展」では、“この秋、会津をアートなまちに育てよう”をテーマに、会津若松市の収蔵美術作品や会津にゆかりのあるアーティストの作品などを多様な表現で紹介しました。

会期 令和5年9月29日(金)～11月3日(金) 36日間

会場 公共施設、市内の店舗など

入場 無料

主催 あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会 **委員長** 会津若松市長 室井照平

共催 会津若松市、会津若松市教育委員会

助成 令和5年度福島県森林環境交付金事業、公益財団法人朝日新聞文化財団

協賛 (株)BRECE

後援 福島県、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、ふくしまFM、エフエム会津

協力 喜多方市美術館

■実施概要

展示企画会場数	13	会津・漆の芸術祭：2会場、まちなかピナコテカ：11会場
展示作品数	895	会津・漆の芸術祭：17点 まちなかピナコテカ：878点（うち、市収蔵作品13点）
ワークショップ、イベント	31	出前講座、ギャラリートーク、ワークショップ、イベントなど 会津・漆の芸術祭：19件、まちなかピナコテカ：12件

■来場者・参加者数：3,446人

主要会場名	展示タイトル	来場者数
会津若松市歴史資料センターまなべこ	会津 漆の魅力展 常設展	497
福島県立博物館	漆のオープンスタジオ	331
会津若松市文化センター	「会津 ヒトとマチとのアート展」第一期 ・一般参加型作品展「私の好きな会津365」 ・会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」 ・新しいAIZUの美術展2023 ・わたしの表現・みんなの表現展 ～障がい者アート展～ ・第59回会津工芸新生会展 ・会津ゆかりのアーティスト・クリエイターの世界	1,098
会津若松市文化センター	「会津 ヒトとマチとのアート展」第二期 ・第60回記念会津美術協会展	749
まちなかの店舗	「会津 ヒトとマチとのアート展」第二期 ・一般参加型作品展「私の好きな会津365」	500
市内各所	ワークショップ、出前講座など	271

展示会場一覧（会津・漆の芸術祭）「会津 漆の魅力展」

No.	会場名	展示内容・期間	協力団体・協力作家
1	会津若松市 歴史資料センター まなべこ	会津 漆の魅力展 常設展 【期間】10月13日(金)～11月3日(金)	会津漆器協同組合青年部、 会津塗技術保存会、 会津大学短期大学部、 会津農林高等学校
2	福島県立博物館 雪国ものづくり広場 「なんだべや」	漆のオープンスタジオ 【期間】10月17～22日、24日～27日、 29日、31日～11月2日（14日間）	福島県立博物館、 佐藤淳、八木由紀子、 二瓶由布子、清水聡一郎

展示会場一覧（まちなかピナコテカ）「会津 ヒトとマチとのアート展」

No.	会場名	協示内容・期間
1	会津若松市 文化センター	会津 ヒトとマチとのアート展 第一期 9月29日(金)～10月9日(月) ・一般参加型作品展「私の好きな会津365」 ・会津若松市の作品でつくる「ちいさな美術館」 ・新しいAIZUの美術展2023 ・わたしの表現・みんなの表現展 ～障がい者アート展～ ・第59回会津工芸新生会展 ・会津ゆかりのアーティスト・クリエイターの世界
2	会津若松市 文化センター	会津 ヒトとマチとのアート展 第二期 10月18日(水)～10月22日(日) ・第60回記念会津美術協会展 アート教室：デッサン教室、ドライポイント教室
3	福西惣兵衛商店、 紀州園、marusa、 あいづ浪漫亭しおぐら、 食堂カフェ ハレの日、 タカハシブラザー、 PonoLea Coffee、 Azzuro、サトウ時計店 栄町オサダ	会津 ヒトとマチとのアート展 第二期 10月18日(水)～10月31日(火) ・一般参加型作品展「私の好きな会津365」受賞作品の展示

開催ワークショップ・イベント一覧

日時・場所	内容	ページ
9月5日(火) 一箕町金堀地内	漆樹の植栽地見学と掻き取り体験	24・25
9月6日(水) 大戸中学校 10月12日(木) 行仁小学校 10月26日(木) 東山小学校 10月27日(金) 大戸小学校	漆の出前講座 協力：会津大学短期大学部（地域活性化センター）	26・27
10月13日(金)～11月3日(金) 福島県立博物館 雪国ものづくり食堂「つきない」	会津 漆の魅力展×「つきない」コラボデザート	22
10月15日(日) 生涯学習総合センター 美術工芸スタジオ	ぐい呑み漆塗り(摺り漆)体験 協力：会津漆器協同組合青年部	8・9
10月17日(火)、10月19日(木)、 10月27日(金)、10月31日(火)、 11月1日(水) 会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室	まなべこツアー	28・29
10月21日(土) 会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室	まなべこ歴史文化講座「会津と漆の歴史」	7

日時・場所	内容	ページ
10月22日(日) 会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室	螺鈿のブローチ作り体験 協力：会津工芸新生会	10・11
10月22日(日) 福島県立博物館 雪国ものづくり食堂「つきない」	八木さんと二瓶さんの漆の「つきない」トーク 協力：福島県立博物館	23
10月28日(土) 会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室	漆ロウを利用したボタニカルキャンドルづくりの実演 協力：会津農林高等学校	12・13
10月28日(土) 会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室	漆の皿づくりワークショップ 講師：八木由紀子さん、清水聡一郎さん	14・15
11月3日(金) はら笑楽交	会津漆器と郷土料理の魅力を知る教室 協力：会津塗技術保存会、はら笑楽交プロジェクト実行委員会	16・17
11月13日(月)・11月17日(金) 大戸町上三寄南原地内	漆樹の植樹体験	30・31
8月6日(日)・8月26日(土) 会津若松市文化センター	会津若松市の作品でちいさな美術館をつくらう！ 参加：一般応募による市内の中中学生4名 講師：はじまりの美術館 学芸員 大政愛 協力：社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館	52～55
応募 7月7日(金) ～8月31日(木) 展示 9月29日(金) ～10月9日(月) 10月18日(水) ～10月31日(火) 会津若松市文化センター まちなかの店舗	会津 ヒトとマチとのアート展 一般参加型作品展「私の好きな会津365」 ①一般応募・展示 応募作品数：593点（18歳以下の部、一般の部） 一般応募・絵画平面作品：2023年8月31日必着 ・写真：2023年9月27日搬入 協力：福西惣兵衛商店、紀州園、marusa、あいづ浪漫亭しおぐら、 食堂カフェ ハレの日、タカハシブラザー、 PonoLea Coffee、Azzuro、サトウ時計店、栄町オサダ ②表彰式 受賞作品：20点（各部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞3点、 佳作6点・協力店賞10点） 表彰式：2023年10月9日(月・祝) 午後2時～	47～51
9月29日(金)～10月9日(月) 会津若松市文化センター	会津 ヒトとマチとのアート展 第一期 ワークショップ ①カラフル切り絵ワークショップ 日時：2023年9月30日(土)、10月1日(日)、10月5日(木) 各日3回開催 10:00～、13:00～、15:00～ 講師：芳賀好子 ②みんなでアート小法師をつくらう ③「作者のひとへ、手紙を書こう」 ④ミッション参加によるノベルティの絵葉書 協力：小野木亜美、よしもりたけはる、ひさみつまゆみ	66～68
9月30日(土)～10月1日(日) 会津若松市文化センター	会津 ヒトとマチとのアート展 第一期 アーティスト・クリエイターの世界 滞在制作 協力：小野木亜美	59
10月18日(水)～10月22日(日) 会津若松市文化センター	会津 ヒトとマチとのアート展 第二期 第60回会津美術協会展 ①さわって楽しむアートコーナー ②アート教室 ・デッサン教室 日時：2023年10月21日(土) 午前9時30分～午前12時 講師：若杉儀子 参加者：6名 ・ドライポイント教室 日時：2023年10月21日(土) 午後1時30分～午後4時30分 講師：安部直人 参加者：8名	70～71

この印刷物は、福島県の森林環境税を活用して製作しました。

福島県の森林は、全国に誇る湖沼など良好な水環境の保全、安全で快適な生活環境の保全、豊かな自然環境の保全、木材の生産など多面的な機能を持ち、私たちの生活に様々な恵みをもたらしています。そして、これまで森林と人との関わりの中で森林を守り育てながらこれを有効に利用するための知恵や技術、生活様式といった森林文化が育まれてきました。

しかし、森林の維持管理を担ってきた林業生産活動の停滞や農山村の過疎化、生活様式の変化などから人々の心が森林から遠ざかっており、必要な手入れや利用が行われないまま放置される森林が見られるなど、森林の持つ公益的機能の発揮を将来にわたって確保することが困難になるおそれが生じています。

一方、生活の向上や価値観の多様化、特に、地球温暖化問題や自然との共生指向などから森林の持つ公益的機能の発揮が一層期待されるようになっていきます。

今に生きる私達は、このような森林を未来も豊かであるよう守り育て未来の世代に引き継ぐ責務があります。そのためには、私たち一人一人が森林がもたらす様々な恵みにより日常生活が支えられていることを理解し、森林づくりの重要性と果たすべき役割について考え、行動し、森林の保全に参画する必要があります。

そこで、福島県は、平成17年11月20日に「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を制定するとともに、平成18年度から森林環境税を活用し、森林所有者や林業の枠を超えた「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」に取り組んでいます。

森林文化のくに・ふくしま県民憲章

わたしたちは、

- 1) 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2) 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3) 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4) 森林を守り育て、未来につなぎます。

あいづまちなかアートプロジェクト2023

■実行委員会(団体名)

会津若松市
会津若松市教育委員会
福島県立博物館
会津若松文化振興財団
会津漆器協同組合
会津塗伝統工芸士会
会津文化団体連絡協議会
会津美術協会
まちづくり会津
福島県建築士事務所協会会津支部
福島県建築士会会津支部
市役所通り商店街振興組合
神明通り商店街振興組合
大町通り活性化協議会
七日町通りまちなみ協議会
野口英世青春通り協議会
会津若松観光ビューロー
会津塗技術保存会

■会津・漆の芸術祭部会 委員

福島県立博物館	小林 めぐみ
会津漆器協同組合	福西 正樹
会津漆器協同組合青年部	加藤 史郎
会津塗伝統工芸士会	本田 充
会津文化団体連絡協議会(会津工芸新生会)	大竹 信一
会津美術協会	坂内 憲勝
会津若松観光ビューロー	神谷 英資
会津塗技術保存会	渡部 佳澄
会津大学短期大学部	井波 純

■アートで人とまちをつなぐ部会 委員

東京芸術大学	伊藤 達矢
上越教育大学	伊藤 将和
会津大学短期大学部	井波 純
東北芸術工科大学	青山 ひろゆき
福島県立博物館	川延 安直
はじまりの美術館	大政 愛
斎藤清美術館	伊藤 たまき
会津若松文化振興財団	岩澤 俊典
会津若松文化振興財団	慶徳 勝憲
会津文化団体連絡協議会	塩谷 洋治
会津美術協会	馬場 泰
会津美術協会	平山 えり子
福島県建築士事務所協会会津支部	田中 冬至夫
福島県建築士会会津支部	田勢 光夫
神明通り商店街振興組合	高橋 弘明
七日町通りまちなみ協議会	佐瀬 勉
野口英世青春通り協議会	西本 真理子
市役所通り商店街振興組合	齋藤 勇
まちづくり会津	大竹 恵美子
福島惣兵衛商店	福西 敦子
個人参加	佐々木 賢
フラワーサークル ピースソワール	小針 麻里子
AIZU GATE	星 亜裕美

あいづまちなかアートプロジェクト2023 記録集

2024年2月発行

制作：あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会

<https://aizu-artpj.com/>

<事務局>福島県会津若松市追手町2-41 会津若松市教育委員会 文化課

あいづまちなかアートプロジェクトへ助成・協賛いただいた企業の皆様

公益財団法人朝日新聞文化財団



